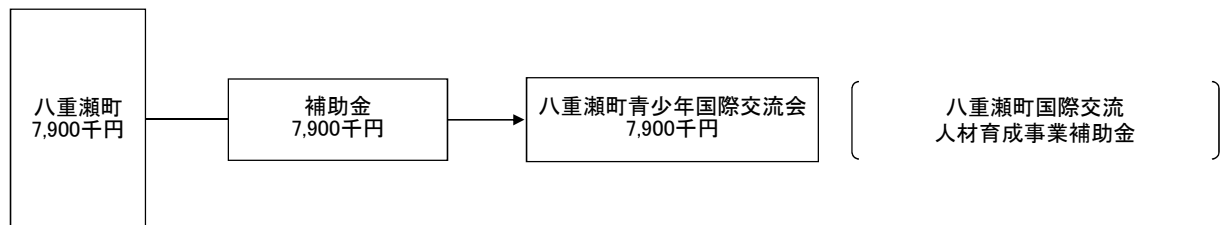


市町村名	八重瀬町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	八重瀬町国際交流人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	国際的視野を広め、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図るため、教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を行う青少年リーダーを海外に派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	6,356	6,356	6,656	6,976	8,251
		(b) 予算現額	6,356	6,656	6,976	7,851	8,251
		(c) 増減額(b-a)	0	300	320	875	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	6,356	6,656	6,976	7,851	8,251
	B. 執行済額	6,352	6,481	6,880	7,508	7,900	
	うち交付金充当額	5,081	5,184	5,504	6,006	6,319	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.9%	97.4%	98.6%	95.6%	95.7%	
予算の状況の説明	不用額351千円については委託の入札残によるもの。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	海外短期派遣生徒数 12人	目標	( 12人 )	( 12人 )	( 12人 )	( 12人 )	
		実績	12人	12人	12人	12人	
		目標					
実績							
達成状況説明	令和元年度は32名の応募があり、記述試験、集団適正試験、面接(英語)を実施し12名を選考した。 12回(36時間)の事前研修で、プレゼンテーション資料作成や現地の文化学習、日常生活における英会話学習を実施した。 本研修では、公立及び私立の中学校へ訪問し、1日の授業をとおした交流や平和学習、文化体験などを実施した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	目標	(      )	( 100% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		100%	100%	100%	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
実績							
進捗状況説明	・保護者へのアンケートにおいて、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じたとの回答が100%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・海外派遣後の報告会を各学校において実施しているが、多くの生徒の国際的視野を広めるために、海外派遣で得られた交流や体験を周知することが重要である。</p>	<p>・より幅広い周知に向けて、生徒や保護者が多く参加する学校行事を活用した海外派遣の報告機会を検討する必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・各学校と連携し、文化祭や学習発表会等で海外派遣報告が実施できるよう取り組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,900	7,900	6,319	1,581	0



資金の流 れ 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○5社へ事業提案依頼をし、3社から応募があった。内容、金額を比較検討し選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残の不用額があったが適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○参加者からは対象外経費にかかる費用として、個人に係る経費の1割程度を負担しており、妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		八重瀬町青少年少女人材育成交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
	担当部署名	生涯学習文化課		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充
事業内容		幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や、集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな青少年の健全育成を図るため、風土・文化の違う他県の子どもたちと交流を行う。					Ⅲ-3
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,564	5,564	5,564	6,500	7,380
		(b) 予算現額	5,564	5,564	5,564	6,500	7,380
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	5,564	5,564	5,564	6,500	7,380
	B. 執行済額		5,497	5,440	5,375	4,798	6,493
	うち交付金充当額		4,397	4,352	4,300	3,838	5,194
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.8%	97.8%	96.6%	73.8%	88.0%
予算の状況の説明		不用額887千円については委託の入札残によるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(夏)児童生徒交流者数 12人	目標	( 12人 )	( 12人 )	( 12人 )	( 12人 )	
		実績	12人	12人	12人	12人	
	(冬)児童生徒交流者数 42人	目標	( 38人 )	( 42人 )	( 42人 )	( 42人 )	
		実績	44人	40人	41人	42人	
達成状況説明	・8月11日から8月13日までの期間(夏)において、町内12人の児童を高知県へ派遣し交流を行った。 ・12月17日から12月20日までの期間(冬)において、町内の児童生徒42人が山形県へ派遣され、交流を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	目標	( )	( 100% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		100%	100%	100%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・保護者へのアンケートにおいて、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広がったとの回答が80%以上となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・派遣後の後の報告会を、各学校で実施しているが、多くの生徒の規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな少年少女の健全育成を図るために、県外派遣で得られた交流や体験を周知することが重要である。</p>	<p>・より幅広い周知に向けて、児童や保護者が多く参加する学校行事を活用した県外派遣の報告機会を検討する必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・各学校と連携し、学習発表会等で県外派遣報告が実施できるよう取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	6,493	6,493	5,194	1,299	0
<pre> graph LR     A[八重瀬町 6,493千円] --&gt; B[補助金 6,493千円]     B --&gt; C[八重瀬町交流会 6,493千円]     subgraph D [ ]     C     end     style D fill:none,stroke:none   </pre>					

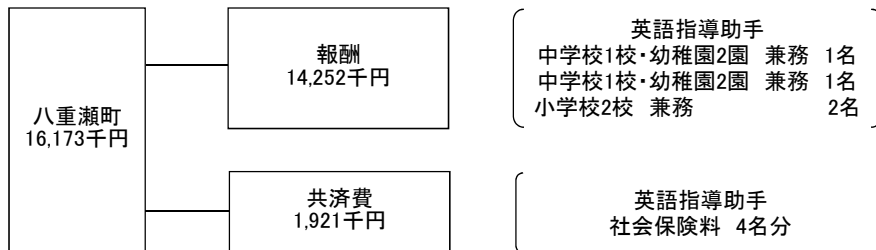
資金の流 れ、 検 査 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○一般競争入札で事業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残の不用額があったが適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○参加者からは対象外経費にかかる費用として、個人に係る経費の2割程度を負担しており、妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		八重瀬町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	八重瀬町外国語指導強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3		
事業内容	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、町内幼小中学校に英語指導助手を配置する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	14,246	14,163	14,227	16,404	16,404	
		(b) 予算現額	14,246	13,099	14,227	16,404	16,404	
		(c) 増減額(b-a)	0	▲1,064	0	0	0	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		14,246	13,099	14,227	16,404	16,404	
	B. 執行済額		13,656	13,099	13,894	15,956	16,173	
	うち交付金充当額		10,925	10,479	11,115	12,765	12,938	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		95.9%	100.0%	97.7%	97.3%	98.6%	
予算の状況の説明		当初の計画通り、4月~3月までの期間に4人の英語指導助手を配置。不用額については、勤務実績に基づく報酬残であり、計画的に執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	英語指導助手:4人 4小(2人は小兼務) 2中は各1人配置(園を兼務)		目標	( 4人 )	( 4人 )	( )	( )	
			実績	4人	4人			
			目標	( )	( )	( )	( )	
			実績					
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>英語指導助手を4人(小学校2校兼務:2人)(中学校2校・園を兼務:2人)配置した。幼稚園や小学校では、外国人講師とのふれあいを通し、「難しい英語」のイメージから「楽しい英語」へのイメージチェンジに取り組んだ。</li> <li>中学校では、外国人講師とのふれあいや異文化交流を設け、より深く外国語と触れ合える授業づくりに取り組んだ。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。		目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )	( )
			実績		95.61%	96.02%		
	中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差±0ポイント以上		目標	( )	( -1ポイント以上 )	( ±0ポイント以上 )	( )	( )
			実績		+1.9ポイント	-0.03ポイント		
	進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の英語に対する興味・関心度については、96.02%と目標を達成しているため、英語指導助手を配置したことによる学習意欲の向上が見られた。</li> <li>中学校の沖縄県学力到達度調査(英語)における県と本町の平均正答率の差は、-0.03%であったが、9クラス中5クラスは県の正答率を上回っており、目標達成には至らなかったが、学力(英語)の向上は見られた。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・中学校について、わずかながら成果目標の達成に至らなかったことから、英語学力の向上を図るための継続的な取り組みが重要である。</p>	<p>・英語学力の向上を図るため、学習意欲を引き出すような外国語指導助手の活用方法を検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・幼稚園、小学校では引き続き外国語の楽しさを伝えるとともに、外国語への興味・関心向上に取り組む。中学校においては、学習意欲を引き出すようなサポートの方法や、英語検定対策やスピーチ力強化へも積極的にサポートする体制を築き、英語力の向上に取り組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,173	16,173	12,938	3,235	0



資金の用途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・支出先は町規定に基づき委嘱しており、妥当である。</p> <p>・設置予定人数分を町規模等に基づき計上した。実績に基づき不用額が生じたが、概ね適正であった。</p> <p>・費用・用途については、指導助手に対する報酬・共済費であり、必要なものに限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	八重瀬町パソコン指導強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情勢社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3	
事業内容	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、町内小中学校へパソコン指導員を配置し、パソコンを使用する授業のサポートを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,655	7,970	8,108	8,255	8,255
		(b) 予算現額	7,872	7,877	8,108	6,906	8,255
		(c) 増減額(b-a)	217	▲ 93	0	▲ 1,349	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		7,872	7,877	8,108	6,906	8,255
	B. 執行済額		7,872	7,877	6,557	6,090	4,039
	うち交付金充当額		6,297	6,301	5,245	4,872	3,231
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	80.9%	88.2%	48.9%
予算の状況の説明		4月より4人の配置計画だったが、年度末まで人材の確保ができず2人の採用ができなかったため、4,216千円の不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	パソコン指導員配置数 小学校に2人配置(2名兼務) 中学校に2人配置	目標	パソコン指導員配置 ( 小学校2人 ) ( 中学校22人 )	( 4人 )	( 小学校2人 ) ( 中学校2人 )	( 小学校2人 ) ( 中学校2人 )	
		実績	配置済み	4人	小学校1人 中学校1人 小・中(兼務)1人	2人	
達成状況説明	4人の配置計画であったが、人材の確保ができず、2人の配置となった。そのため、町内2地区【東風平地区(小学校2校、中学校1校)・具志頭地区(小学校2校、中学校1校)】に分けてそれぞれに人員を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用の在り方を検証する。	目標	(      )	60% ( 以上 )	80% ( 以上 )	80% ( 以上 )	
		実績		91%	93.04%	90.5%	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績							
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査において「パソコンの操作ができるようになりましたか」の質問に対し、「できるようになった」「少しできるようになった」と回答した児童生徒の割合が89%で目標を上回った。</li> <li>アンケート調査において「パソコンの操作をもっと勉強してみたいですか」の質問に対し、「とてもそう思う」「少しそう思う」と回答した児童生徒の割合が92%で目標を上回った。</li> </ul>						

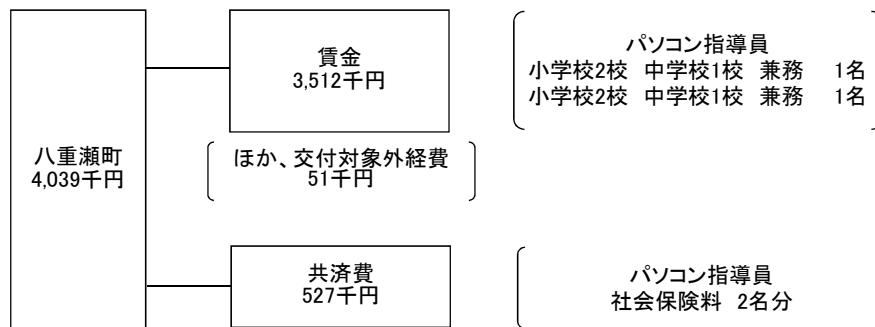
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書やプログラミング授業の導入など、ICT機器の活用能力の重要性が高まっている。</li> <li>パソコン指導員は、高い専門性が求められるため、人材の確保が難しくなっている。</li> <li>不用額の割合が高かった(約51%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の活用に向けた児童生徒及び教職員への支援をより充実させる必要がある。</li> <li>パソコン指導員の配置が難しくなっている状況を踏まえ、これまでと異なる手法を検討する必要がある。</li> <li>予算の執行状況や今後の執行見込みを適宜把握する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ICT機器の操作能力や情報活用能力の向上を目指し、児童生徒及び教職員へのICT支援の充実を図る。
- パソコン指導員の確保に向けて、専門性を有する事業者への業務委託などの方法を検討する。
- 不用額の縮減に向けて、予算執行状況を適宜把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,090	4,039	3,231	808	51



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出先は町規則等に基づき雇用契約を結んでおり、妥当である。</li> <li>予算規模については、採用予定人数分を町規則等に基づき計上したが、予定人数の確保ができず不用額が生じた。</li> <li>費目・使途については、支援員に対する賃金・共済費であり、必要なものに限定されている。</li> </ul>
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	八重瀬町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	八重瀬町学力向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3		
事業内容	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導により、学力の向上を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,621	31,880	28,897	33,022	33,022
		(b) 予算現額	23,473	18,006	28,897	25,594	33,022
		(c) 増減額(b-a)	▲ 7,148	▲ 13,874	0	▲ 7,428	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	23,473	18,006	28,897	25,594	33,022
		B. 執行済額	20,830	18,006	22,406	22,255	23,538
		うち交付金充当額	16,663	14,405	17,924	17,804	18,830
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	88.7%	100.0%	77.5%	87.0%	71.3%
予算の状況の説明	4月より16名の配置計画であったが、人材確保ができなかったことや自己都合退職などがあり計画していた人員の確保ができなかった。また、勤務実績に伴う賃金・共済費の執行残があり9,484千円の不用額が生じた。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	学習支援員配置数 (小学校10人・中学校6人)	目標	( 小学校10人 中学校6人 )	( 小学校10人 中学校6人 )	( 小学校10人 中学校6人 )	( 小学校10人 中学校6人 )	
		実績	小学校8人 中学校4人	小学校10人 中学校4人	小学校9人 中学校4人	小学校8人 中学校3人	
	達成状況説明	目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
小学校10人・中学校6人の配置計画に対して人材の確保ができず、計画通りの配置ができなかった。年度途中からの雇用及び自己都合退職により、小学校(8人)、中学校(3人)の配置となった。							
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力達成度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数)	( )	( -2P以上 )	( -2P以上 )	( ±0P以上 )	( )
	実績		+1.83P	-0.18P	-2P		
	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力達成度調査における、県と本町との平均正答率の差 中学校(国語・数学)	( )	( -3P以上 )	( -3P以上 )	( -2.4P以上 )	( )	
	実績		-2.3P	+0.63P	-0.37P		
進捗状況説明	・沖縄学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差は、小学校-2P、中学校-0.37Pで小学校は目標達成に至らなかったが、中学校は目標を達成した。 ・教職員と一緒に授業に入り、授業についていけない児童生徒には個別で指導を行い学力向上に取り組んだ。						

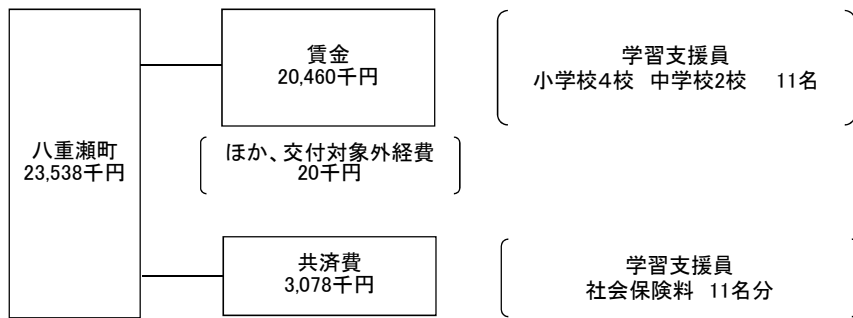
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校における沖縄県学力達成度調査の平均正答率が目標を下回ったことから、引き続き学力向上に向けた取り組みが重要である。</li> <li>・不用額の割合が高かった(約29%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおりに学習支援員を配置することが難しい状況下において、効果的に学力向上を図る工夫が必要である。</li> <li>・予算の執行状況や今後の執行見込みを適宜把握する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・児童生徒の習熟度に応じた支援のあり方について、教員と学習支援員が連携しながら効果的な学習支援を検討する。
- ・不用額の縮減に向けて、予算執行状況を適宜把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

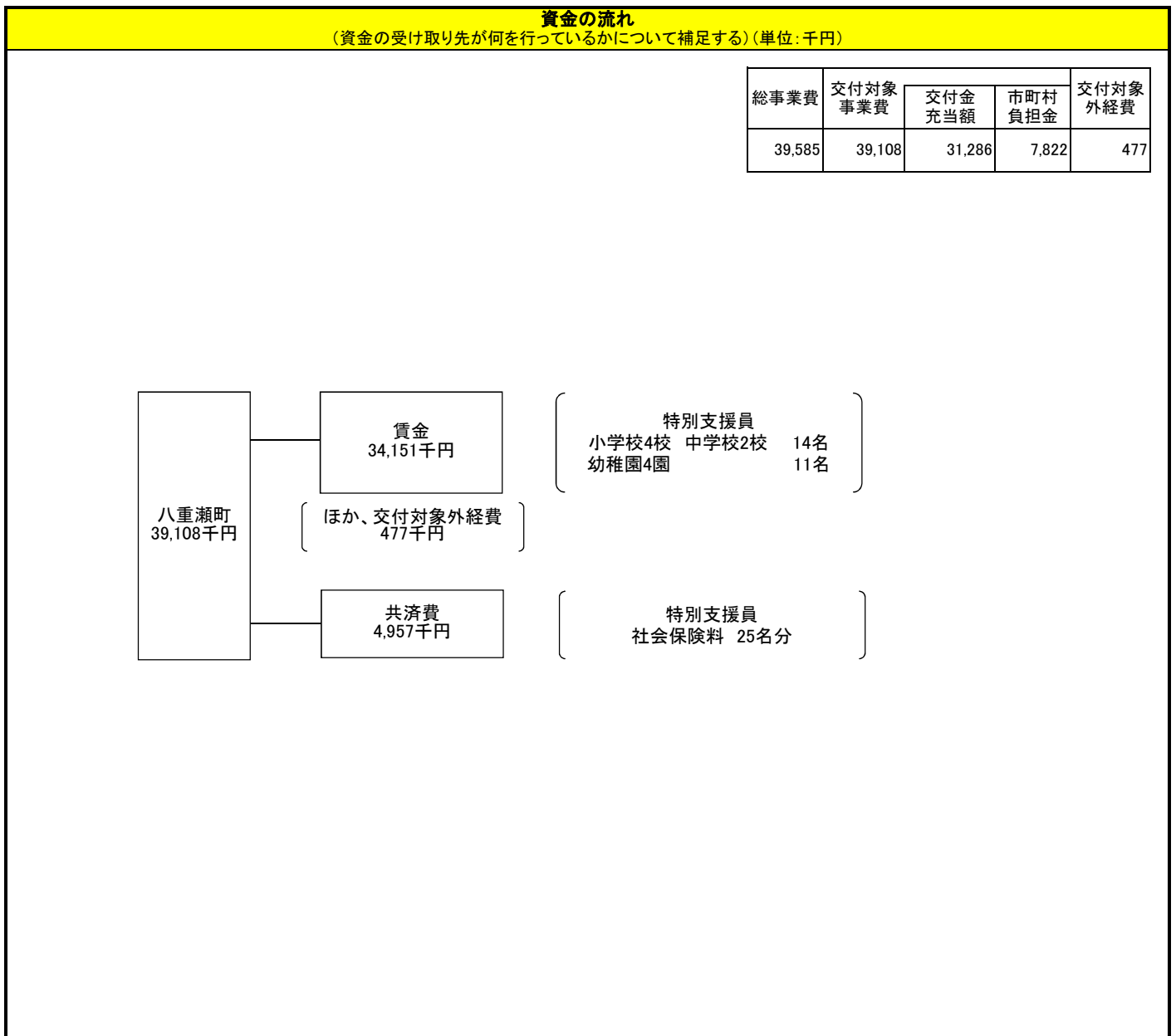
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
23,558	23,538	18,830	4,708	20



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規則等に基づき雇用契約を結んでおり、妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、採用予定人数分を町規則等に基づき計上したが、予定人数の確保ができず不用額が生じた。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、支援員に対する賃金・共済費であり、必要なものに限定されている。

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	八重瀬町特別支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3	
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	24,087	33,063	30,933	62,605	62,605
		(b) 予算現額	22,443	24,948	30,933	49,504	62,605
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,644	▲ 8,115	0	▲ 13,101	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		22,443	24,948	30,933	49,504	62,605
	B. 執行済額		15,903	24,948	20,631	42,474	39,108
	うち交付金充当額		12,722	19,958	16,505	33,979	31,286
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		70.9%	100.0%	66.7%	85.8%	62.5%
予算の状況の説明		4月より36名の配置計画であったが、人材確保ができなかったことや自己都合退職などがあり計画していた人員の確保ができなかった。また、勤務実績に伴う賃金・共済費の執行残があり23,497千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	特別支援員の配置 (小学校14人・中学校6人)	目標	( 小学校14人 中学校6人 )	( 小学校14人 中学校6人 )	( 小学校14人 中学校6人 )	( 小学校14人 中学校6人 )	
		実績	小学校17人 中学校2人	小学校14人 中学校2人	小学校14人 中学校4人	小学校11人 中学校3人	
	特別支援配置数(幼稚園16人)	目標	(                    )	(    6人    )	(    16人    )	(    16人    )	
実績			5人	13人	11人		
達成状況説明	小学校14人・中学校6人・幼稚園16人の配置計画に対して人材の確保ができず、計画通りの配置ができなかった。年度途中からの雇用及び自己都合退職により、小学校(11人)、中学校(3人)、幼稚園(11人)の配置となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検討する。	目標	(                    )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(                    )	(                    )
		実績		91.56%	87.23%		
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
実績							
進捗状況説明	保護者アンケートの満足度は「満足している」が71.12%、「おおむね満足している」が16.11%、計87.23%となり成果目標を上回った。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度よりも保護者の満足度が低下しており、複雑化する支援に対する経験不足等を指摘する声がある。</li> <li>・不用額の割合が高かった(約38%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援員のスキルアップ向上を図る取り組みが必要である。</li> <li>・予算の執行状況や今後の執行見込みを適宜把握する必要がある。</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士等を講師とする勉強会を実施し、支援員の知識充実やスキルアップを図る。</li> <li>・不用額の縮減に向けて、予算執行状況を適宜把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。</li> </ul>		



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支出先は町規則等に基づき雇用契約を結んでおり、妥当である。</li> <li>・予算規模については、採用予定人数分を町規則等に基づき計上したが、予定人数の確保ができず不用額が生じた。</li> <li>・費目・使途については、支援員に対する賃金・共済費であり、必要なものに限定されている。</li> </ul>
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	切磋琢磨学力パワーアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-7	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の充実	
事業内容	生徒の学力向上を図るため、町内中学生に対して放課後や休日等に学習支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	14,970	14,971	14,970	14,837	14,837
	(b) 予算現額	14,970	14,970	14,970	14,837	14,837	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲1	0	0	0	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	14,970	14,970	14,970	14,837	14,837	
	B. 執行済額	14,944	13,898	14,956	14,832	12,159	
	うち交付金充当額	11,955	11,118	11,965	11,865	9,727	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.8%	92.8%	99.9%	100.0%	82.0%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校により各種講座開催回数が減少したため、2,678千円の不用額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	平日(放課後)講座 (令和1年6月～令和2年3月)	目標	(平成28年6月～平成29年2月)	(平成29年6月～平成30年3月)	(平成30年6月～平成31年3月)	(令和1年6月～令和2年3月)	
		実績	平成28年7月～平成29年3月	平成29年6月～平成30年3月	平成30年7月～平成31年3月	令和1年6月～令和2年2月	
	定期テスト補習講座	目標	(5回)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	13回	実施	実施	実施	
	長期休業中講座	目標	(5回)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	5回	実施	実施	実施	
	三年生対象高校入試模試	目標	(1回)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	1回	実施	実施	実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日(放課後)講座は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校により、期間の短縮が生じたものの、各中学校(具志頭校区16:15～18:15、東風平校区16:30～18:30)でそれぞれ28回行われた。</li> <li>定期テスト対策講座は、中間テスト対策・期末テスト対策2回で各校あわせて合計8日間開催した。</li> <li>長期休業中講座として、夏季講座を東風平地区で5日間(13:00～19:00)、具志頭地区で6日間(10:00～16:00)開催した。</li> <li>三年生対象高校入試模試は、各校あわせて合計4回実施した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における、県と本町との平均正答率の差 -2.4ポイント以上	目標	( )	(-3ポイント以上)	(-3ポイント以上)	(-2.4ポイント以上)
	実績			-0.23ポイント	0.63ポイント	-0.37ポイント	
進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における県と本町の平均正答率の差は、-0.37ポイントとなり、目標を達成した。						

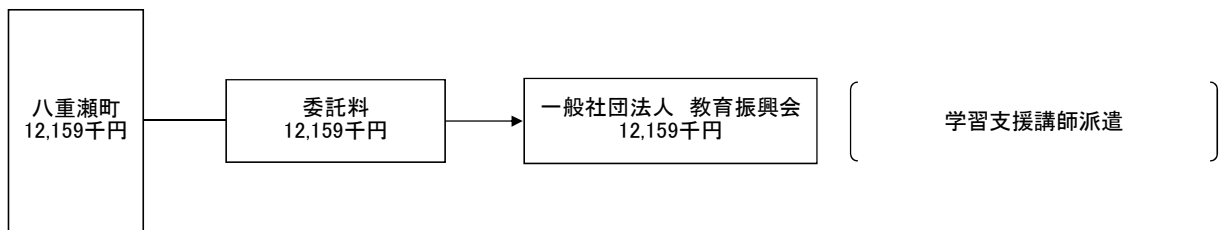
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○講座開催日を放課後へ変更することにより、授業終了後講座への移行がスムーズになり、生徒も集中力をもって講座に参加しているように思われる。一方、学校行事や部活動との関連により講座出席にばらつきが出てしまうこともしばしば見られるので、学校との連携をいっそう密にして、部活動ともバランスをとりながら実施していく必要がある。	○部活動停止日に放課後講座を実施することで、部活動生の参加を促しているが、突発的な行事変更などにより、講座日程と重なることもあり、参加者が減少することもある。弾力的な講座開催方法等も事前に検討していくことも参加者の増加に繋がると考えられる。
	○今年度は1年生の勉強環境の定着を目指し、講座参加の周知を強化したため、1年生の参加者増に繋がった。学年や学校でも参加者にばらつきがあるため、全体的な周知を徹底する必要がある。また、受講者の学力にもばらつきが見られるため、個別指導の充実も図る必要がある。	○生徒の習熟度により効果的な指導方法を工夫しながら講座を展開するなど、個別指導と全体指導をバランスよく行うことで学力向上へ繋がると考えられる。また、学力が定着していない生徒への個別指導を充実させていくことにより、全体の学力の底上げへと繋がると考えられる。

**今後の取り組み方針**

・学校行事や部活動の日程に変更が生じた場合は、講座の予定も変更できないか検討するなど、より多くの生徒に対する学習支援の機会が確保されるよう努める。  
 ・学力が定着していない生徒に対する個別指導を充実させることにより、基礎的・基本的な学力向上を目指し、全体の学力の底上げへつなげる。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
12,159	12,159	9,727	2,432	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者はプロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものであり、予算規模については、見積書や過去の実績等を勘案し設定しているため適切な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	ICT教育強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(ア)	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 III-3	
事業内容	各小中学校へ電子黒板を設置することにより、ICT機器の活用を促進し、更なる学力向上を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		9,949		4,908	2,904	6,044
			11,558		4,908	2,904	5,811
			1,609		0	0	▲ 233
			—		—	—	—
			11,558		4,908	2,904	5,811
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		11,210		4,590	2,789	5,810
			8,968		3,672	2,231	4,648
			0		0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	97.0%		93.5%	96.0%	100.0%
	予算の状況の説明	入札残により233千円減額したが、当初の計画どおり執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	電子黒板等(5台) パソコン(5台)	目標	( 5台 )	( 3台 )	( 5台 )	( )	
		実績	5台	3台	5台		
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	当初の予定通り、3小学校に対し電子黒板及び電子黒板用PC5台を設置した。 (東風平小学校3台・具志頭小学校1台・新城小学校1台)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	児童にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		89%	91%	92%	
	町内小中学校の普通教室への電子黒板及びパソコン導入率を100%にし、年間授業日数の30%以上の活用を目指す。	目標	( )	( )	( 30% )	( 30% )	( )
実績				57%	53%		
進捗状況説明	・児童にアンケートを実施したところ、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合は92%となり、目標を達成した。 ・ICT機器の活用状況について教師へ調査した結果、年間授業日数のうち活用率は53%となり、目標を達成した。						

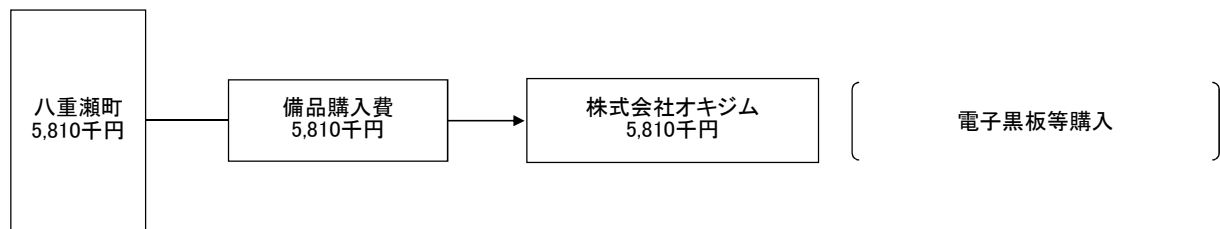
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度を迎え、新たに増加した学級への設置が必要となる。</li> <li>・導入後の使用状況と効果を把握する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別教室への整備をさらに充実させる必要がある。</li> <li>・導入後の活用状況や効果について、アンケート等で調査する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・特別教室への設置も併せて引き続き事業を実施する。  
 ・児童へのアンケートを継続して実施し、満足度の向上を目指す(目標値:「授業が分かりやすくなった」と回答する割合が80%を超える)。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,810	5,810	4,648	1,162	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模について、事前見積、本町の過去の購入実績等を参考に積算しており、購入台数も含めて適切な規模と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途について、電子黒板の導入にあたり、必要なものに限定されている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 八重瀬町イベント事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部署名	観光商工課(やえせ桜まつり)生涯学習文化課(八重瀬町青年エイサー祭り)	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成		
事業内容	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する団体を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,616	9,600	8,600	6,683	4,071
		(b) 予算現額	6,314	13,979	8,600	4,683	4,071
		(c) 増減額(b-a)	698	4,379	0	▲2,000	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		6,314	13,979	8,600	4,683	4,071
	B. 執行済額		6,314	13,979	8,347	4,592	3,809
	うち交付金充当額		5,051	10,250	5,054	3,673	3,046
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	97.1%	98.1%	93.6%
予算の状況の説明		不用額262千円については、補助額確定に伴う執行残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	八重瀬町青年エイサー祭りの開催支援	目標	( 支援実施 )	( 支援実施 )	( 支援実施 )	( 支援実施 )	
		実績	支援実施	未実施	支援実施	支援実施	
	やえせ桜まつりイベントの開催支援	目標	( 支援実施 )	( 支援実施 )	( 支援実施 )	( 支援実施 )	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
達成状況説明	【八重瀬町青年エイサー祭り】 ・旧盆の伝統行事として町内各地域で行われているエイサー団体が一堂に会して行う八重瀬町青年エイサーまつりを支援し、伝統芸能の継承、観光イベントとして情報発信や地域活性化に寄与した。 【やえせ桜まつり】 ・八重瀬公園の桜を沖縄南部桜の名所として広くPRし地域活性化に寄与した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	対象イベントの来場者数	目標	( )	( 9,000 )	( 21,015 )	( 18,400 )	( )
		実績		8,300	17,300	12,300	
	【参考指標】 八重瀬町青年エイサー祭り来場者数	目標	( )	( - )	( 11,000 )	( 12,000 )	( )
		実績		-	11,000	6,000	
	【参考指標】 やえせ桜まつり来場者数	目標	( )	( 5,500 )	( 5,885 )	( 6,400 )	( )
実績			4,700	6,300	6,300		
進捗状況説明	・やえせ桜まつりは目標の来場者数をほぼ達成したが、青年エイサー祭りが開催日当日の悪天候により来場者数が伸び悩んだことから、全体としては目標未達成となった。						

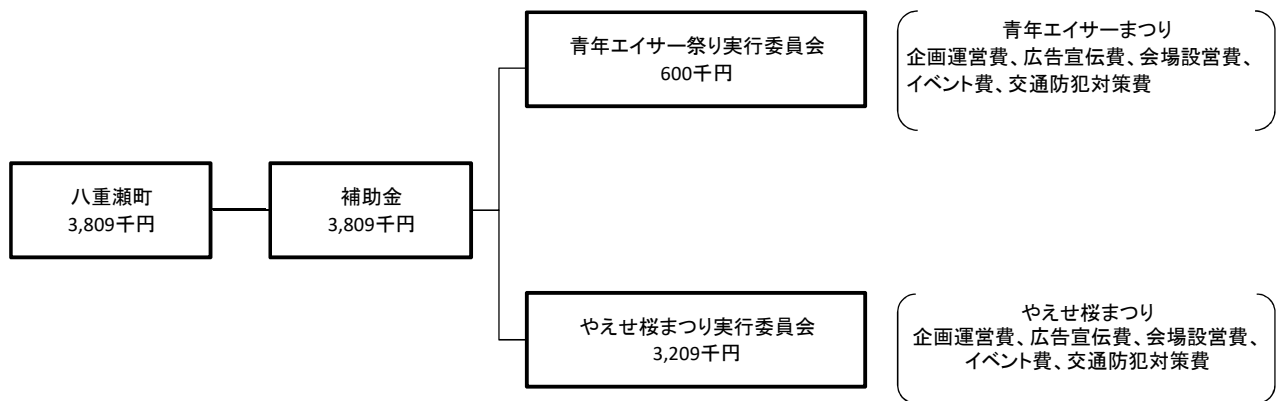
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八重瀬町青年エイサー祭りについて、来場者数が減少した要因として、祭り開催日当日の悪天候とともに、会場の変更(具志頭地区青年会の40周年事業として、例年の東風平陸上競技場から具志頭陸上競技場へ変更)に関する周知不足が挙げられる。</li> <li>・やえせ桜まつりについて、直前に新型コロナウイルス感染症の国内感染が発生したことを受け、スタッフへのマスク配布、会場入口への消毒液設置等の感染予防対策を行い、開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの来場者を集客できるようにイベントの趣旨や会場へのアクセス方法などの周知に力を入れる必要がある。</li> <li>・イベント開催時の感染症対策やイベント開催が困難となる場合を想定した代替手法など検討しておく必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・イベント来場者数の増加に向けて、観光客が立ち寄るスポット(宿泊施設・レンタカー営業所・町内外観光施設等)における情報発信・プロモーションをより早期から実施する。  
 ・イベントを開催する際に必要となる感染症対策を入念に準備するとともに、イベント開催が困難となる場合を想定し、代替となる実施方法(オンライン配信型のイベント実施など)をあらかじめ検討する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,809	3,809	3,046	763	0



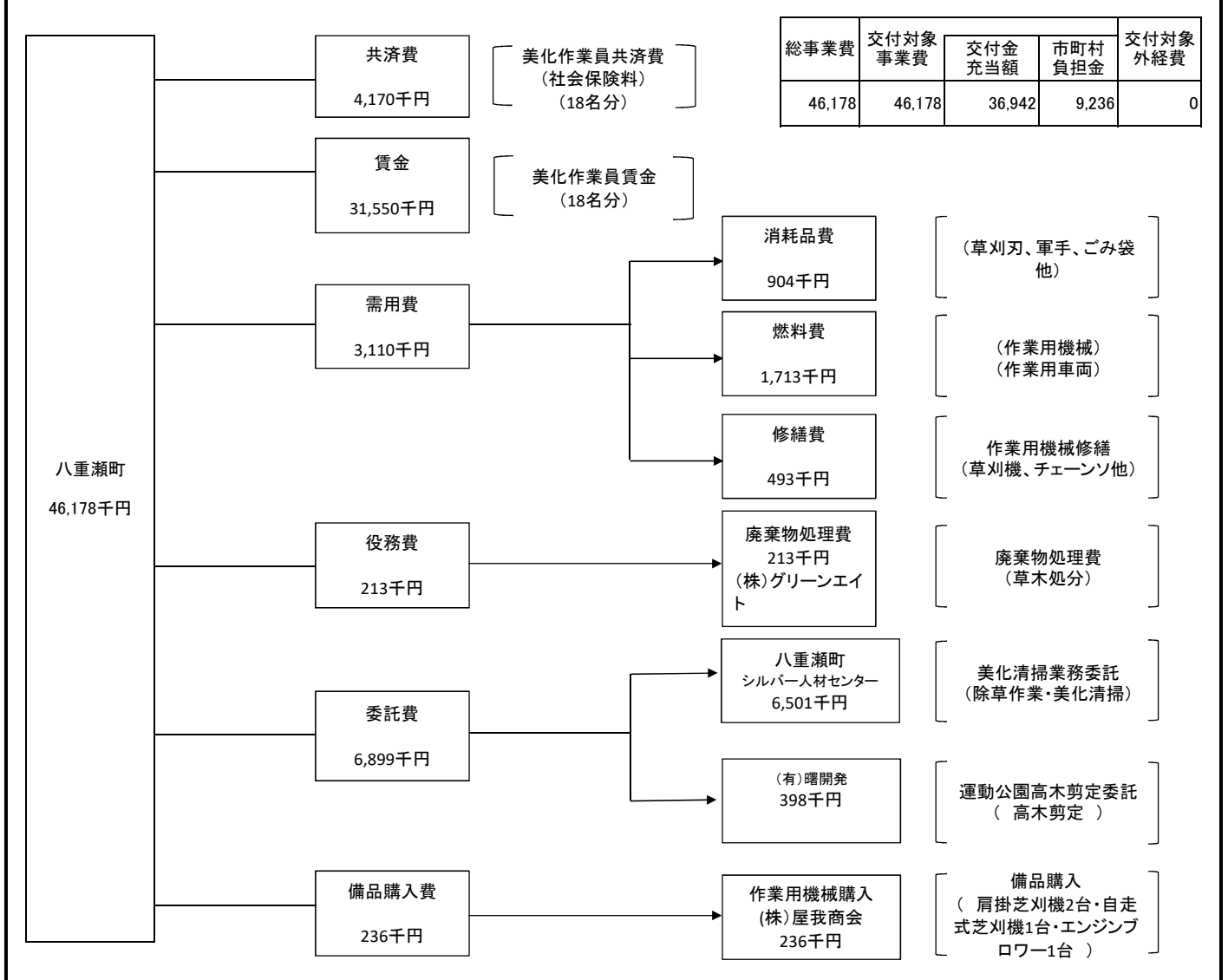
資金の 用途の流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出の選定先は、地域における協働のイベント等に関係している経験・知識がある方で構成し、また地域団体関係者の委員会でもあるため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、見積書等を勘案しより安価で効果的な予算用途に限定しているため適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について精査し執行しており適正である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	八重瀬町観光地美化作業事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	都市整備課、土木建設課、スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	54,624	54,487	54,355	53,808	54,457
	(b)予算現額	56,000	52,988	52,855	53,808	48,057	
	(c)増減額(b-a)	1,376	▲1,499	▲1,500	0	▲6,400	
	(d)繰越額	—	—	—	—	—	
	A.計(b+d)	56,000	52,988	52,855	53,808	48,057	
	B.執行済額	52,402	52,015	47,591	48,087	46,178	
	うち交付金充当額	41,921	41,612	38,073	38,469	36,942	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	93.6%	98.2%	90.0%	89.4%	96.1%	
予算の状況の説明	当初予定していた廃棄物処理費について一部を無料で処理することができたため、1,700千円を3月補正で減額した。また、賃金について当初作業員2人の確保ができなかったのに加え、途中でも作業員が不足した期間があったため、予算4,374千円を減額した。不用額924千円については廃棄物処理費と賃金、消耗品費、燃料費の減によるもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地 :13箇所 アクセス道路 :45路線	目標	( 美化作業の実施 )	( 美化作業の実施 )	( 13箇所 45路線 )	( 13箇所 45路線 )	
		実績	美化作業の実施	美化作業の実施	13箇所 45路線	13箇所 45路線	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )		
	実績						
達成状況説明	観光地や施設(13箇所)及びアクセス道路(45路線)の美化作業(草木の伐採等による景観美化の管理)を計画どおりに実施し、優先順位や必要性の高い場所等の検討及び調整をしながら定期的に行えたことにより、安心安全な観光客の受入態勢を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R1年度	目標値(年度)	
			(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )	(      )
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	目標					
		実績		98%	90%		
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
進捗状況説明	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるとの回答結果が90%となり、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月から10月頃にかけて、草木の成長が著しく、通常の作業人員では作業が間に合わない状況である。また賃金職員の場合、欠員がでた場合の補充に時間を要するため、その間の作業に遅れがでる。</li> <li>・夏季の作業において、沖縄の高温多湿の環境により作業員や作業機械に負担が大きく作業員の休みや機械の修理等が必要となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化清掃業務委託において時期に応じて作業員の増減の検討を行う。賃金職員において、連携を密にとり、欠員を早めに把握できるようにする。</li> <li>・作業員の体調面を考慮し、効率のよい作業計画(除草剤の併用)を行い、作業員減が無ないように調整する。</li> <li>・作業機械の使用状況を整理し、新規の備品購入を検討する。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用やイベントでの利用時期を関係課と調整し、美化作業の作業場所や路線を効率よく計画し快適な利用状況を維持する。</li> <li>・作業員による第三者への安全対策の徹底、体調管理を行い作業中の事故を防止するとともに繁茂が激しく農地や民家の少ないエリアでは除草剤での作業を効率よく行う。</li> <li>・観光施設の緑化(草花)等も検討し観光地としての質の向上を図る。</li> <li>・賃金職員担当部署と連携し、欠員後すぐに補充できるようにする。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定により選考を行い、また直接雇用の作業員については町の雇用促進の観点から公募、面接を行い採用しており妥当であると考え。 ○予算規模については、見積もり及び町条例に基づき算出しており事業に必要な予算規模であると考え。 ○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類において確認をし適正であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町
------	------

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	港川フィッシャー遺跡整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和2年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	町内から出土した「港川人」を含む更新世化石人骨は東アジアでも発見されているが、保存がよく全体の形態がわかるのは港川人のみとなっており、貴重な資料となっている。こうした港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育および観光資源としての活用に向けて、周辺整備を行う。
------	--

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)
--------	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	---

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	10,240		11,297	18,925	64,320
	(b) 予算現額	10,240		5,044	7,957	61,163
	(c) 増減額 (b-a)	0		▲ 6,253	▲ 10,968	▲ 3,157
	(d) 繰越額	—		—	—	—
	A. 計 (b+d)	10,240		5,044	7,957	61,163
	B. 執行済額	10,077		4,839	6,932	61,160
	うち交付金充当額	8,061		3,870	5,545	48,928
	次年度繰越額	0		0	0	0
	執行率 (%) (B/A)	98.4%		95.9%	87.1%	100.0%
予算の状況の説明	当初、工事施行監理業務の委託を予定していたが、実施が不要となったことから、3,157千円を減額した。					

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		港川遺跡公園整備工事	目標 ( 実施 )	( )	( )	( )
	実績	実施				
	港川遺跡公園整備工事施行監理委託業務	目標 ( 実施 )	( )	( )	( )	( )
	実績	未実施				
達成状況説明	昨年度、作成した実施設計を基に予定どおり工事を施工した。施行監理業務については、当初外部委託を予定していたが、職員で対応した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)	
			港川遺跡公園整備工事の完了	目標 ( )	( 完了 )	( )	( )	( )
			実績		完了			
	【R3成果目標】観光、研修等で訪れた方を対象にアンケート調査を実施。観光地、学習施設としての満足度を調査する(満足度80%以上)	目標 ( )	( )	( )	( )	( 80%以上 )		
	実績							

進捗状況説明	港川遺跡公園実施設計を基に、計画どおり工事ができた。
--------	----------------------------

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大量な伐開殻が発生、処分できない殻(ギンネムや雑木など)が発生した。伐開殻が想定より多かったため、その処理(廃棄)に対する費用が必要となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は設計・積算をより精査する必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・便益施設(トイレ・倉庫)の建築を早急に発注し、年度内完成、一部公園を開放したい。</li> <li>・工事完了後、施設の維持管理を検討する必要がある。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
61,160	61,160	48,928	12,232	0
<pre> graph LR     A[八重瀬町 61,160千円] --&gt; B[工事請負費 61,160千円]     B --&gt; C[久建工業株式会社 61,160千円]     subgraph Project [ ]     C     end     style Project fill:none,stroke:none   </pre>				

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支出先の選定は、地方自治法及び本町の財務規則等に従って選定されており妥当である。</li> <li>○予算規模についても適正な規模であった。</li> <li>○費目・用途については、事業達成に向けた観点から、事業に対して必要なものかどうか支出等に関する書類を精査し執行をしているため適正だった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

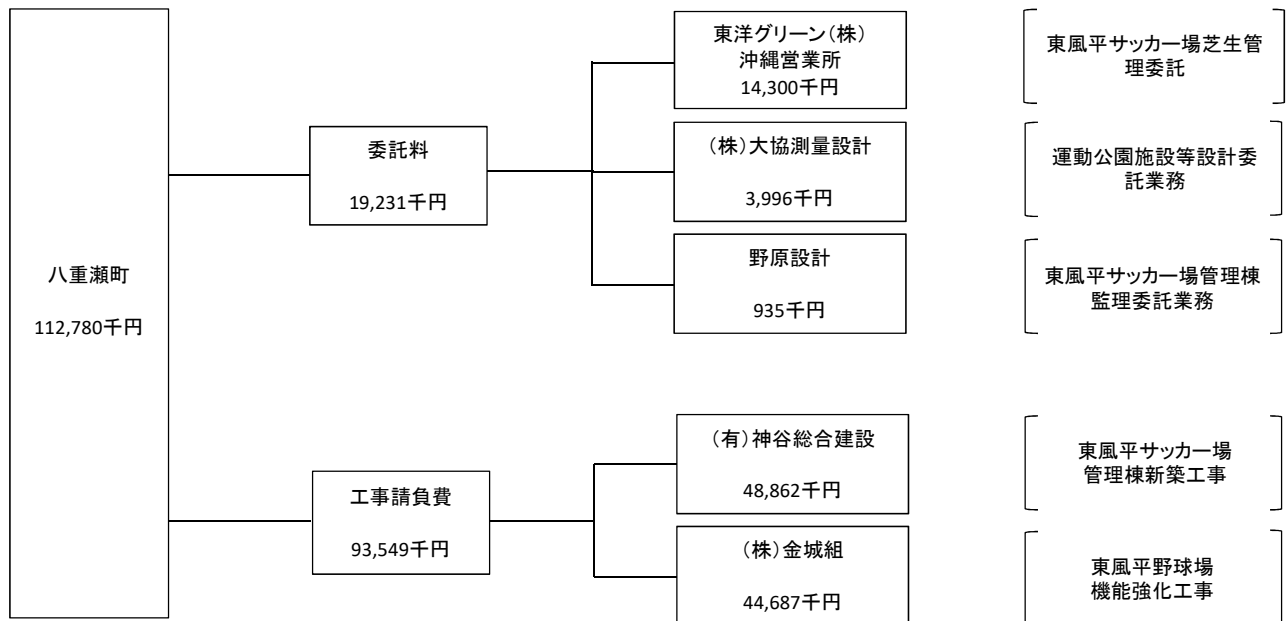
市町村名		八重瀬町									
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2-④	運動公園施設等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ					
担当部課名	都市整備課、スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	『スポーツアイランド沖縄』の形成					
事業内容	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。令和元年度においては、芝生管理業務、サッカー場管理棟新築工事、野球場機能強化工事(防球ネット、ラバーマット)を行う。										
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
		(a) 当初予算額	15,390	24,904	20,771	24,600	82,155				
		(b) 予算現額	14,453	24,904	20,771	24,600	114,231				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 937	0	0	0	32,076				
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—				
		A. 計(b+d)	14,453	24,904	20,771	24,600	114,231				
		B. 執行済額	13,774	24,559	20,136	24,332	112,780				
		うち交付金充当額	11,019	19,647	16,109	19,465	90,224				
		次年度繰越額	0	0	0	0	0				
		執行率(%) (B/A)	95.3%	98.6%	96.9%	98.9%	98.7%				
予算の状況の説明	サッカー場管理棟の設計において製品の変更が生じたことやキャンプ球団側からの要望を受けて野球場の防球ネット等を前倒して実施する必要が生じたことにより、予算を32,076千円増額した。										
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況									
				R1年度		R2年度		R3年度		R4年度	
		サッカー場のプロ仕様芝生整備	目標	( 実施 )	( )	( )	( )				
			実績	実施							
		サッカー場の管理棟選手用トイレ、シャワー整備	目標	( 実施 )	( )	( )	( )				
			実績	実施							
		具志頭運動公園陸上競技場の芝生用肥料、寒冷地型芝生種子等の購入	目標	( 実施 )	( )	( )	( )				
			実績	未実施							
		東風平運動公園の防球ネット委託設計及び工事	目標	( 実施 )	( )	( )	( )				
			実績	実施							
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー場において、継続的に委託管理を行うことで、冬期間のキャンプ時に良好な芝生環境で練習ができるように受入れ環境の整備を行った。</li> <li>シャワー・トイレ施設を備えた管理棟新築工事を行い、サッカーキャンプ誘致の環境整備を整えることができた。</li> <li>東風平野球場において、防球ネット、ラバーマットの機能を強化することにより、野球キャンプ誘致の環境整備を整えることができた。</li> </ul>										
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)			基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)			
		野球場キャンプの受け入れ(5件以上)	目標	( )	( 5チーム )	( 6件以上 )	( 5件以上 )	( )			
			実績		7チーム	5件	1件				
		サッカーキャンプの受け入れ(3件以上)	目標	( )	( )	( 4件以上 )	( 3件以上 )	( )			
			実績			6件	4件				
		進捗状況説明	【野球キャンプ】予定していた海外プロ野球チーム、県外大学チーム、県外高校チームが新型コロナウイルス感染症の流行により実施できず、成果目標を達成できなかった。しかし、プロを目指す県内チーム(琉球ブルーオーシャンズ)がキャンプを行った。【サッカーキャンプ】新型コロナウイルス感染症流行のため、海外プロチームが1チームが来県できなかったが、2チームは予定どおり実施できた。またJリーグの2チームキャンプも予定どおり実施したので成果目標を達成することができた。								

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>サッカーキャンプ誘致のため、継続して芝生管理委託を行った結果、土壌の硬さに変化が生じてきている。これに伴い、以前土壌の硬さを懸念していたチームも再びキャンプを実施した。さらに、管理棟の新築を行ったことでサッカー場施設の機能強化が図られた。今後においてもさらなる土質の分析検証等を実施していく必要がある。</p> <p>野球キャンプについては、ラバーマットをプロ仕様を整備することで、プロ野球のキャンプ誘致を行ったが、新型コロナウイルス感染症流行のため、成果目標達成とまではいかなかった。しかし、初の県内プロ野球チームを目指すチームがキャンプを行ったことにより、観客やマスコミの注目を集め、今後のプロ野球キャンプの後押しとなった。</p>	<p>サッカー場の芝生環境は年々改善されているが、さらにプロ仕様の芝生環境に近づけるため、継続的に芝生管理委託を行う必要がある。また、キャンプチームの要望にも柔軟に対応できる管理体制を確立する必要がある。</p> <p>野球場においては、既存の防球ネットを越えて隣地へボールが飛球するため、既存の防球ネットを生かしながらの更なる機能強化を検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>サッカーキャンプにおいては、引き続き良質な芝生の管理を行うため、専門業者への芝生管理委託にて施設環境を整える。また、受け入れチームの要望にも対応できる管理体制を確立し、知名度のより高いチームのキャンプ誘致に取り組めるようにサッカーキャンプ事業との連携、受け入れ体制を強化し、町への観光誘客につなげたい。</p> <p>野球キャンプにおいては、野球場施設をプロ仕様へ対応できるよう、既存の防球ネットを生かしながらの更なる機能強化を検討し、国内プロ野球チームのキャンプ誘致を推進したい。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
112,780	112,780	90,224	22,556	0



資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○東風平サッカー場芝生管理委託は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。</p> <p>○国土交通省の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正であった。受益者負担なし。</p> <p>○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	八重瀬町サッカーキャンプ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	観光商工課、スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成26年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	Jリーグ加盟等のサッカーチームキャンプを誘致し、観光誘客とキャンプ来場者の町内周遊を促す。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	■直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	2,695	9,947	2,045	8,955	11,304
	(b)予算現額	2,462	10,343	5,564	8,955	11,304	
	(c)増減額(b-a)	▲233	396	3,519	0	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	2,462	10,343	5,564	8,955	11,304	
	B.執行済額	1,849	10,056	4,685	656	3,975	
	うち交付金充当額	1,479	8,045	3,747	524	3,179	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	75.1%	97.2%	84.2%	7.3%	35.2%	
予算の状況の説明	予算については、チームに合わせて受入態勢の調整を行った結果、警備日数の減、バルーンライトのリースを取りやめた。また、2チーム分の事前調整に係る県外旅費を1度の出張で行ったため、不用額が生じた。特に、キャンプ時の臨時警備を練習試合のみに限定し執行したことで、警備委託料3,254千円が不用となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	Jリーグ加盟チーム受け入れ	目標	( 2チーム )	( 2チーム )	( 2チーム )	( 2チーム )	
		実績	1チーム	1チーム	3チーム	2チーム	
海外プロサッカーチーム受け入れ	目標	( 1チーム )	( 1チーム )	( 1チーム )	( 1チーム )		
	実績	2チーム	1チーム	2チーム	2チーム		
達成状況説明	・キャンプ受け入れの内訳として、J1加盟チームを1チームとJ2加盟チームを1チームの受け入れを行い、Jリーグ加盟チームを計2チーム受け入れた。また、海外チームについては、ブラジルのチームと中国のチームを受け入れ、計2チームの受け入れを行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 10,000人以上 )	( 10,000人以上 )	( 10,000人以上 )	( )
	実績		6,634人	2,613人	2,898人		
	Jリーグ加盟チーム2チーム以上・海外プロサッカーチーム1チーム以上の計3チーム以上のキャンプ受け入れ	目標	( )	( 3チーム以上 )	( 3チーム以上 )	( 3チーム以上 )	( )
		実績		2チーム	6チーム	4チーム	
	キャンプ来客者が冊子を活用し町内で消費した額(250万円以上)	目標	( )	( 250万円以上 )	( 370万円以上 )	( 250万円以上 )	( )
実績			134.6万円	-	121.4万円		
進捗状況説明	・今年度は国内外合わせて4チームを受け入れし、成果目標の3チーム以上は達成したものの、東京オリンピックの開催によりJリーグ開催日程がずれ込んだこと、また、多くの集客が見込まれるトレーニングマッチ(練習試合)の情報開示がチームの事情により直前となり、周知期間が短く十分な周知ができなかったこと等により、想定していたよりも来客数が伸び悩み、目標を下回った。 ・本町キャンプを予定していた中国の1チームについては、新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルとなったが、合計4チームを受け入れ、目標を達成した。 ・本町PRとして、来場者に対して、サッカーキャンプ応援冊子(町内周遊ツール)や観光ガイドブックの配布、同時期に開催される町イベントの周知、町内事業者によるテナント出店等を行ったが、来客数が伸び悩んだことにより、冊子を活用した消費額は目標に達しなかった。						

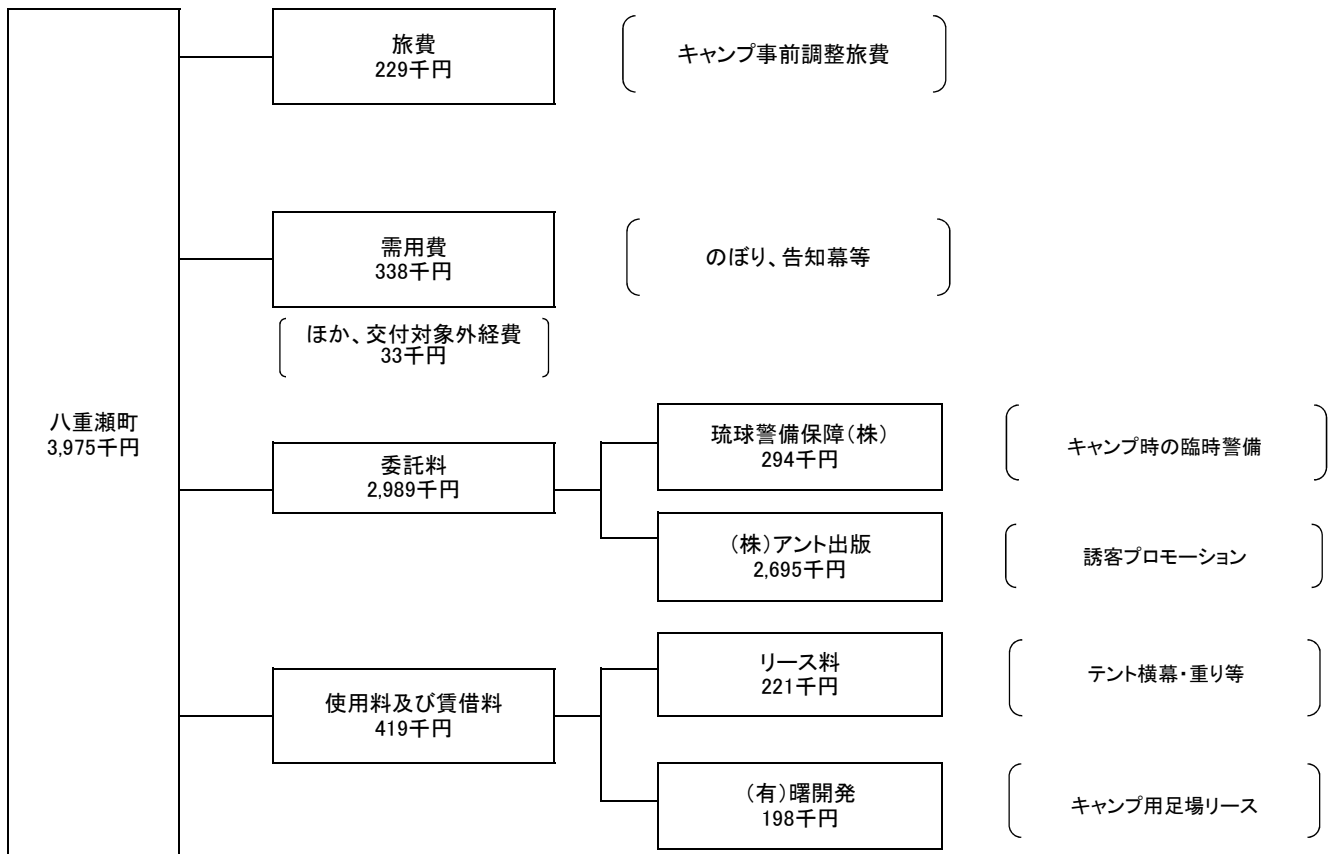
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ来場者数が目標に達しなかった要因として、集客の見込めるトレーニングマッチ(練習試合)の周知期間が短かったことにある。また、トレーニングマッチ(練習試合)の開催数や対戦チームによっても大きく変動するため、直前で開催が決定すると来場者数が予測しにくい。</li> <li>・サッカーキャンプ応援冊子(町内周遊ツール)を活用した町内消費額が目標に達しなかった要因として、来場者数が想定よりも伸び悩んだこと、キャンプが直前で決定したため、冊子の周知期間が短かったことなどが挙げられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客の見込めるトレーニングマッチ(練習試合)については、早い段階で開催要求を行い、トレーニングマッチ(練習試合)の周知を図る。</li> <li>・サッカーキャンプ応援冊子(町内周遊ツール)においても、上記同様にキャンプの早期決定と冊子の早期周知を行うことで、町内消費額の増加を図る。</li> <li>・チーム事情によりチーム確定後も告知が難しいこともあるが、県民や町民、協力店舗等とともにキャンプを受け入れる機運醸成を図ることで、周知が浸透しやすい環境を整える。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・キャンプの早期決定を促すため、早めに誘致活動を行い、トレーニングマッチ(練習試合)の開催要求やプロモーション企画等を提案し、キャンプ来場者数の増加を図る。
- ・サッカーキャンプ応援冊子(町内周遊ツール)についてもキャンプ早期決定を促し、冊子の早期周知及びトレーニングマッチ(練習試合)に合わせたプロモーション企画等を提案し、町内消費及び事業効果の拡大を図る。
- ・サッカーキャンプの受け入れにかかる機運醸成については、事前に開示可能な情報を精査し、キャンプ時期の告知や、キャンペーン企画で更なる地域活性化を図っていることなどをメディア取材、SNS、HP、チラシ、ポスター等を活用して告知を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,008	3,975	3,179	796	33



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・予算執行については、八重瀬町財務規則に基づき執行したので、支出先の選定方法は妥当だったと考える。
	△	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、旅費や委託料の執行残があり、特に、警備委託料を必要最低限に抑え執行したため、当初より不用額が多くなった。今年度の態勢で特に問題はなかったため、今後の予算規模を縮小するよう見直す。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については、清算段階で検査しており、目的に即し、必要なものであると判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	八重瀬ブランド販路構築支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部署名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1	
事業内容	町内にある既存の町産品について、町外・県外への販路拡大を図るため、商談会の実施等を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,956	10,800	10,768	10,545	9,750
		(b) 予算現額	9,956	10,800	10,768	9,795	9,750
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 750	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)	9,956	10,800	10,768	9,795	9,750	
	B. 執行済額	9,770	10,768	10,751	8,609	9,572	
	うち交付金充当額	7,816	8,614	8,600	6,887	7,657	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.1%	99.7%	99.8%	87.9%	98.2%	
予算の状況の説明	不用額178千円については、委託業務の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	町外よりバイヤーを招聘し、町内事業者を対象とした商談会の実施(2回)	目標	(      )	( 2回 )	( 2回 )	(      )	
		実績		2回	2回		
	県外商談会、物産・観光展への出展支援(2回)	目標	(      )	( 3回 )	( 2回 )	(      )	
		実績		3回	2回		
	ニーズ調査・PRを目的としたテストマーケティング、イベントの開催(2回)	目標	( 3回 )	( 3回 )	( 2回 )	(      )	
実績			4回	2回			
達成状況説明	○9月・3月の2回、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」において、県内・県外バイヤーを招聘し町内事業者を対象とした商談会を実施。 ○2月に町内事業者(3社)を対象として県外商談支援の実施を予定していたが、うち1社は新型コロナウイルス感染症の影響により商談相手方からのキャンセルがあったため、実施は2社となった。 ○町産品のニーズ調査・PRを目的として、2月に「沖縄宝島ぼっほ町田店(東京都町田市)」「八重瀬町観光拠点施設(南の駅やえせ)」においてテストマーケティングを実施するとともに、来場者に対し八重瀬町・八重瀬町産品に関するアンケートを実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	商談が新規成立した事業者数(4件以上)	目標	(      )	( 2社 )	( 4社 )	(      )	(      )
		実績		2社	4社		
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
実績							
進捗状況説明	○9月・3月の2回開催したバイヤー招聘による商談会には、2回合計で延べ12事業者が参加。各事業者は自社製品についてバイヤーからのアドバイスを受けつつ、実際に商品の商談・交渉を行った。 ※年度内に3社(3件)の新規商談成立。 ○2月~3月にかけて、町内事業者2社に対し県外商談支援を実施。 ※年度内に1社(1件)の新規商談成立。他に商談中4件。						

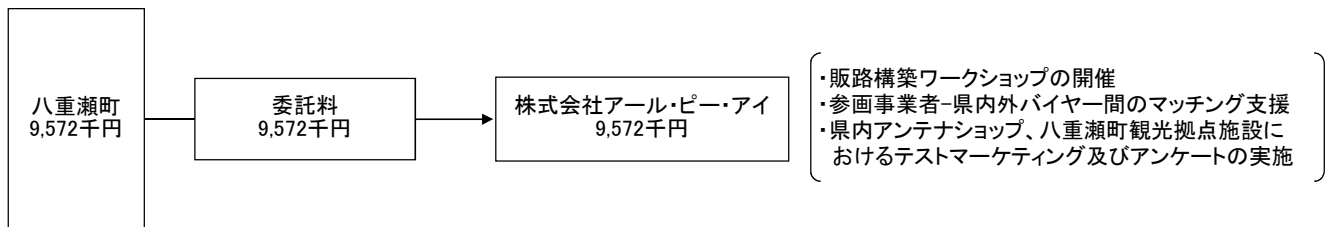
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(商談が新規成立した事業者数) ・バイヤー招聘による商談会において、複数回の実施により町内事業者がバイヤーからの助言・アドバイス等を元に自社のPRや自社製品について改善・磨き上げを行う機会が得られ、結果として商談の成立に繋がった事が目標達成の要因と考えられる。 ・県外商談支援については、新規商談成立があったものの、支援予定事業者のうち1社が、新型コロナウイルス感染症の影響による商談キャンセルのため、実施を見送った。 (その他) ・参加した町内事業者に対するヒアリングからは、商談会の充実のほか、ターゲットを明確にするため個々の事業者に対する商談支援に対する要望が多く上がった。	・各取組(商談会、商談支援、物産展等への参加)の配分について、事業者のニーズに合わせて調整する必要がある。 ・情報発信について、「八重瀬町プロモーション事業」と連動し、一体となった情報発信を行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

・商談支援、物産展等参加支援等の取組実施に先立ち、町内事業者及び町商工会へのヒアリングや意見交換を実施し、最も必要とされる支援の絞り込みを行う。  
 ・観光拠点施設及び町外誘客スポットを活用した観光PRイベントを企画し、実施(観光資源・芸能・特産品等を一同に会してのPR実施)する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,572	9,572	7,657	1,915	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、地方自治法施行令第176条の2第1項第2号に基づき、企画提案方式により事業者を公募したところ4社の応募があり、書面審査・プレゼンテーションによる選定を経て当該事業者と契約を締結しており妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、業者見積もり等で決定しており、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	八重瀬町観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,410	11,999	10,111	5,031	20,617
		(b) 予算現額	14,019	11,276	10,111	5,208	8,413
		(c) 増減額(b-a)	4,609	▲ 723	0	177	▲ 12,204
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		14,019	11,276	10,111	5,208	8,413
	B. 執行済額		14,019	11,276	8,610	4,891	6,107
	うち交付金充当額		11,215	9,020	6,888	3,912	4,884
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	85.2%	93.9%	72.6%
予算の状況の説明		当初計画していた八重瀬町ホームページへの観光ガイドシステム導入委託料及び八重瀬町観光客動向調査委託料については、次年度以降実施することになったため12,204千円を減額した。不用額3,529千円については、予定していた民俗芸能公演の未開催等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	観光プロモーション支援員の配置(2人)	目標	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	
		実績	2人	2人	2人	2人	
	八重瀬町プロモーションの企画提案実施(6回)	目標	( 2回 )	( 3回 )	( 3回 )	( 6回 )	
		実績	2回	6回	13回	16回	
	SNS等による八重瀬町観光情報の発信(100回)	目標	(      )	(      )	( 100回以上 )	( 100回以上 )	
実績				233回	561回		
達成状況説明		観光プロモーション支援員を2名配置し、八重瀬町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」を活用したプロモーションや、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」への誘客イベント等、支援員が企画提案・運営管理する観光プロモーションを16回実施した。SNSを活用した情報発信力を拡充するため、今年度はTwitterを開発し、「やえせのシーちゃん」のゆるキャラグランプリエントリーと合わせて、観光キャラクターによる情報発信を強化した。そのため、SNS等による発信回数が昨年度の2倍以上となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	主要観光施設の入域観光客数(250,000人)	目標	(      )	( 210,000人 )	( 210,000人 )	( 250,000人 )	(      )
		実績			約210,000人	約263,000人	約267,000人
進捗状況説明		年度末は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、南の駅やえせへの集客が伸び悩んだものの、観光イベントの開催や、南の駅やえせ観光案内所における観光情報の充実化、また季節によってはハロウィンをイメージしたフォトブースの設置等、観光プロモーション支援員による企画実施により、年間来場者数は前年度より年間4,000人の増加があり、成果目標を達成することができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」の来場者数は年々増加しており、目標数値は達成しているものの、イベント等を実施するには施設内の駐車場が不足している。</li> <li>・南の駅やえせへ来館した外国人旅行者からお問合せがあった際に、多言語対応できる環境が整っていない。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント自粛が求められる中、3月開催予定だった飲食を伴うイベントを急きょ写真展に変更した。しかしイベントへの集客は少なく、年度末の南の駅やえせの来場者数も伸び悩んだ。今後、同様にウイルス蔓延した場合の対応について検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南の駅やえせでのイベント時には、近隣公共施設や民間事業所等の敷地を借用できるか交渉し、また、駐車場の増設など駐車場不足を解消するための協議を行う。</li> <li>・南の駅やえせにおける外国人旅行者の対応について、観光案内所や観光サインの多言語化など、外国人旅行者の受入体制を整えるための協議を行う。</li> <li>・ウイルス蔓延した場合の観光プロモーション企画について、国や県、他市町村の対応を参考に、関係課等と協議し、対応マニュアルを作成する。</li> </ul>

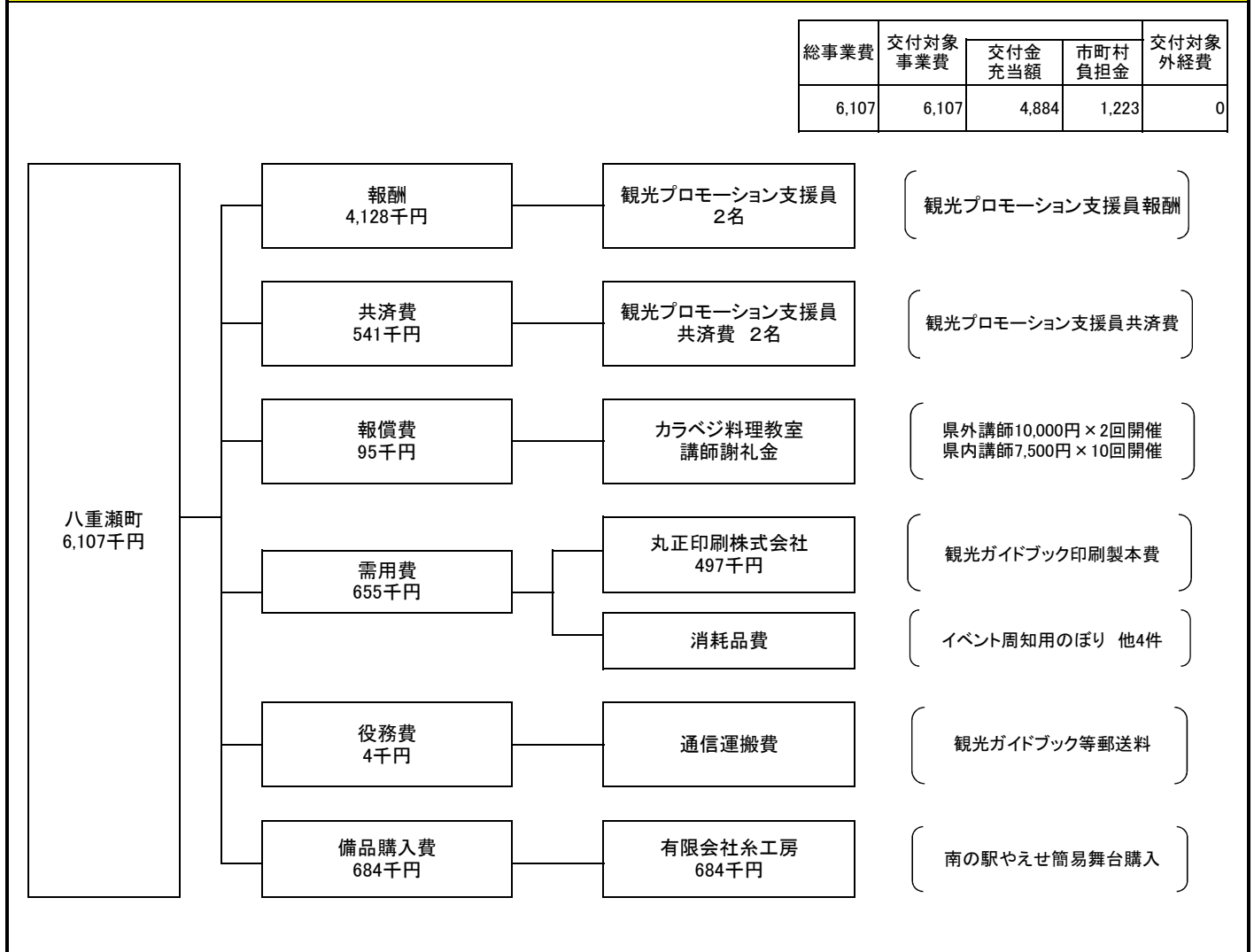
**今後の取り組み方針**

・南の駅やえせや町内観光スポットの駐車場不足については、近隣施設等との調整結果や新規駐車場の増設等の協議結果をもとに、不足する駐車場の確保に努める。

・南の駅やえせにおける外国人旅行者の対応については、観光案内所や観光サイン等の多言語化など、外国人旅行者の受入体制に関する協議を行い、その結果をもとに、受け入れに必要な備品等についてリストアップを行うなど、外国人旅行者の受入体制構築を図る。

・観光プロモーション企画がウイルス蔓延の影響を受ける場合のマニュアルを作成し、ウイルス蔓延の際にはマニュアルに従って対応する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、点検、評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○八重瀬町財務規則に基づき予算執行しているため妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○民俗芸能公演中止による報償費の不用や入札残等による不用があったため、事業執行率が約70%となった。一部見直しが必要。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-I-(6)	
事業内容	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		(b) 予算現額	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	B. 執行済額		11,598	11,734	11,787	11,825	11,908
	うち交付金充当額		9,278	9,387	9,429	9,460	9,526
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.7%	97.8%	98.2%	98.5%	99.2%
予算の状況の説明		予算は八重瀬町和牛組合への補助金である。不用額91千円はセリにて雌牛を導入した際の残額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	優良母牛導入頭数:30頭	目標	( 30頭 )	( 30頭 )	( 30頭 )	( 30頭 )	
		実績	32頭	32頭	31頭	31頭	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	令和元年度において、県内外のセリ市場から31頭の優良母牛を導入し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(115%以上)	目標	( )	( 112%以上 )	( 115%以上 )	( )
	実績			105%	115%		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合は115%となり、目標を達成した。 【R1年度セリ結果(H31.4月~R2.3月)】 ・導入牛以外の子牛 平均590,422円 ・導入牛(H26年度~H30年度)の子牛 680,493円						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規導入農家が2件あり、今後も町内農家に対し平等に導入支援ができるように事業を行う必要がある。</li> <li>・県内外の優良導入牛から生まれた子牛のブランド化を推進するために、導入した雌牛の受精状況や生まれた子牛のセリ価格を正確に把握し、事業成果の検証が行えるようにデータの収集や蓄積を進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業導入農家選定については、新規導入農家やこれまでに導入頭数が少ない農家を優先に実施する。</li> <li>・導入した牛から生まれた子牛の生産報告によって生産状況を把握することで、受胎率が低い雌牛を確認でき、農家に対して適切な飼養管理を指導するために関係機関と連携していく。</li> </ul>

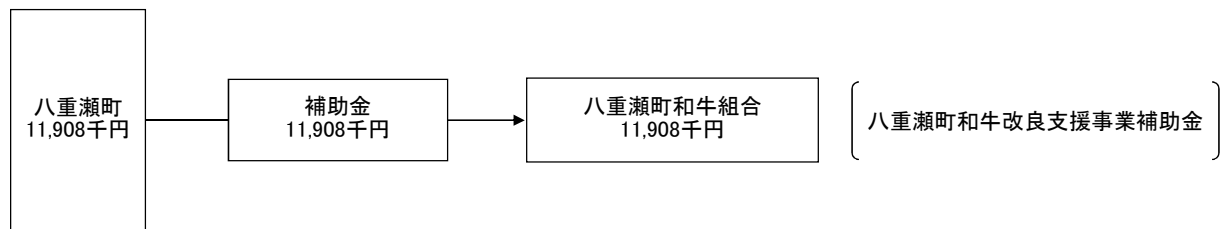
**今後の取り組み方針**

・本事業導入農家を選定する場合は、全体の老廃牛更新を促すためにも未導入農家や導入頭数の少ない農家から優先的に行う。

・導入した雌牛の生産報告の取り組みによって、受胎率が低い雌牛については農家に対して定期的に獣医師による受診を促し受胎率の向上を目指す。また、引き続き県内外のセリ市場から優良母牛を導入するとともに関係機関と連携して農家に適切な飼養管理の指導を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,908	11,908	9,526	2,382	0



資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○町の補助金関係の例規・要綱に従い選定されており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は、導入経費の2分の1を負担しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し適正であった。



市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	乳用牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-I-(6)	
事業内容	農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,000	12,000	12,000		
		(b) 予算現額	12,000	12,000	12,000		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		12,000	12,000	12,000		
	B. 執行済額		12,000	12,000	10,884		
	うち交付金充当額		9,600	9,600	8,707		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	90.7%		
予算の状況の説明		・予算は沖縄県酪農農業協同組合への委託費用である。 ・不用額1,115千円はセリにて雌牛を導入した際の残額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	優良乳用牛導入頭数:30頭	目標	( 30頭 )	( 30頭 )	( 30頭 )	( )	
		実績	30頭	30頭	30頭		
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	令和元年度において、優良乳用牛を30頭導入し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	生産乳量:3,960,000kg以上	目標	( )	( 3,542,000kg )	( 3,947,000kg )	( 3,960,000kg )	( )
		実績		3,872,799kg	4,379,475kg	4,164,070kg	
	乳質(脂肪率):4.12%以上	目標	( )	( 3.95% )	( 4.12%以上 )	( 4.12%以上 )	( )
実績			3.93%	3.87%	3.92%		
進捗状況説明	生産乳量については、実績が4,164,070kgとなり、目標を達成した。 乳質(脂肪率)については、実績が3.92%となり、目標を下回った。 【令和元年度の乳量・乳質結果(H31.4月～R2.3月)】 ・乳量(12戸):合計4,164,070kg 平均347,006kg ・乳質(12戸):平均3.92%						

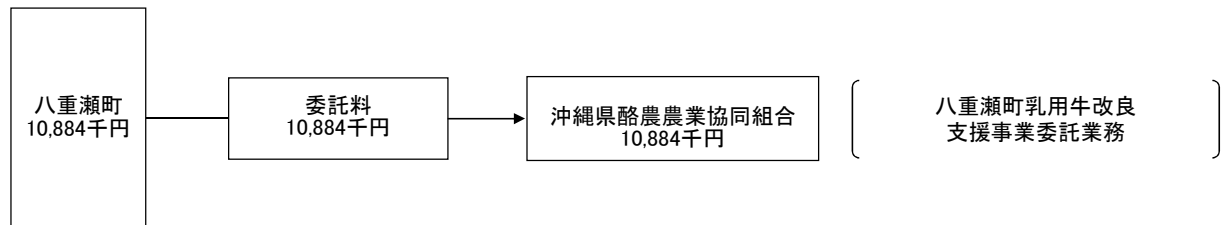
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農家の老廃牛の更新がまだ残っているため本事業での導入が少ない農家との調整が必要である。</li> <li>・乳質(脂肪率)が目標に達しなかった要因として、乳牛は暑さに弱いため、夏場の影響を大きく受けたものと想定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農家の老廃牛更新についても考慮しつつ、事業を行う。</li> <li>・乳質の向上を図るため、暑さ対策を徹底するよう農家の意識を向上させる必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・町内の酪農家全体の老廃牛更新を促すためにも、導入頭数の少ない農家から優先的に行う。
- ・乳質の向上を向けて、具体的な暑さ対策が講じられるよう関係機関と連携して農家の指導に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
10,884	10,884	8,707	2,177	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、地方自治法及び本町の財務規則等に従って選定されており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の規模は、事業内容に即した適正額であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は、導入経費の2分の1を負担しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し適正であった。

市町村名		八重瀬町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ		
担当部署名	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒のスポーツの意識を高めることを目的として、トップアスリートによるスポーツ教室等を開催する。 また、児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、県外で実施される各種大会へ派遣される際の旅費支援を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,474	3,075	3,427	4,878	4,879	
		(b) 予算現額	5,153	5,358	4,427	5,150	4,879	
		(c) 増減額(b-a)	1,679	2,283	1,000	272	0	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		5,153	5,358	4,427	5,150	4,879	
	B. 執行済額		4,835	3,929	4,365	4,950	3,199	
	うち交付金充当額		3,868	3,143	3,492	3,492	2,559	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		93.8%	73.3%	98.6%	96.1%	65.6%	
予算の状況の説明		昨年度と同じ額の予算を計上したが、新型コロナウイルス感染症等の影響から大会の中止等により児童生徒県外派遣費の申請が減少したことにより、不用(1,680千円)が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	野球クリニックの開催		目標	(      )	(      )	( 開催 )	( 開催 )	
	ハンドボールクリニックの開催		実績			開催	開催	
	児童生徒の県外派遣費の助成		目標	( 助成実施 )	( 助成実施 )	( 助成実施 )	( 助成実施 )	
			実績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球クリニックとして、町内中学生を対象に野球指導者 原 智徳さんによるクリニックを開催した。</li> <li>ハンドボールクリニックとして、町内小中学生を対象にハンドボール日本代表 池原 綾香選手によるクリニックを開催した。</li> <li>児童生徒の県外派遣費の助成を63件実施した。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。		目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )	(      )
			実績		95%	90%		
	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。		目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )	(      )
			実績		82%	100%		
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へアンケートを実施した結果、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったとの回答が90%となり、目標を達成した。</li> <li>派遣された児童生徒の保護者へアンケートを実施した結果、児童生徒が広い視野を持てたとの回答が100%となり、目標を達成した。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップアスリートや指導者から直接指導を受けることにより、児童生徒の意識向上が見られたものの、受講生の人数に対し、講師・実技指導者の人数が少なく、個々の指導に十分な時間をかけられなかった課題がある。</li> <li>・不用額の割合が高かった(約34%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なクリニックの開催に向けて、受講生、講師・実技指導者の適正な規模やクリニックの実施日数を検討する。</li> <li>・不用の縮減に向けた取り組みを検討する必要がある。</li> </ul>

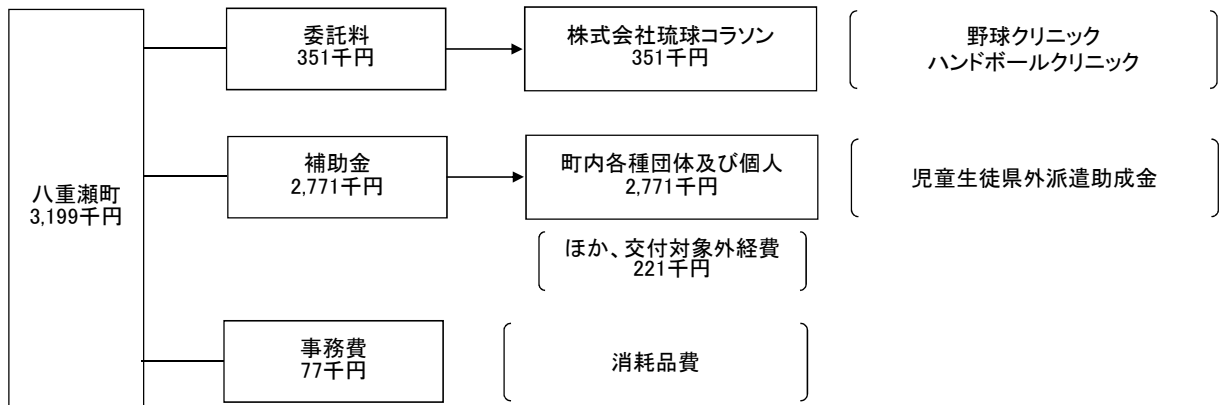
**今後の取り組み方針**

・今後のクリニック開催にあたっては、受講人数に応じた講師・実技指導者及び日程を確保するとともに、受講者全員に十分な指導が行き渡るプログラムを構成できるように講師と綿密に調整する。

・不用の縮減に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

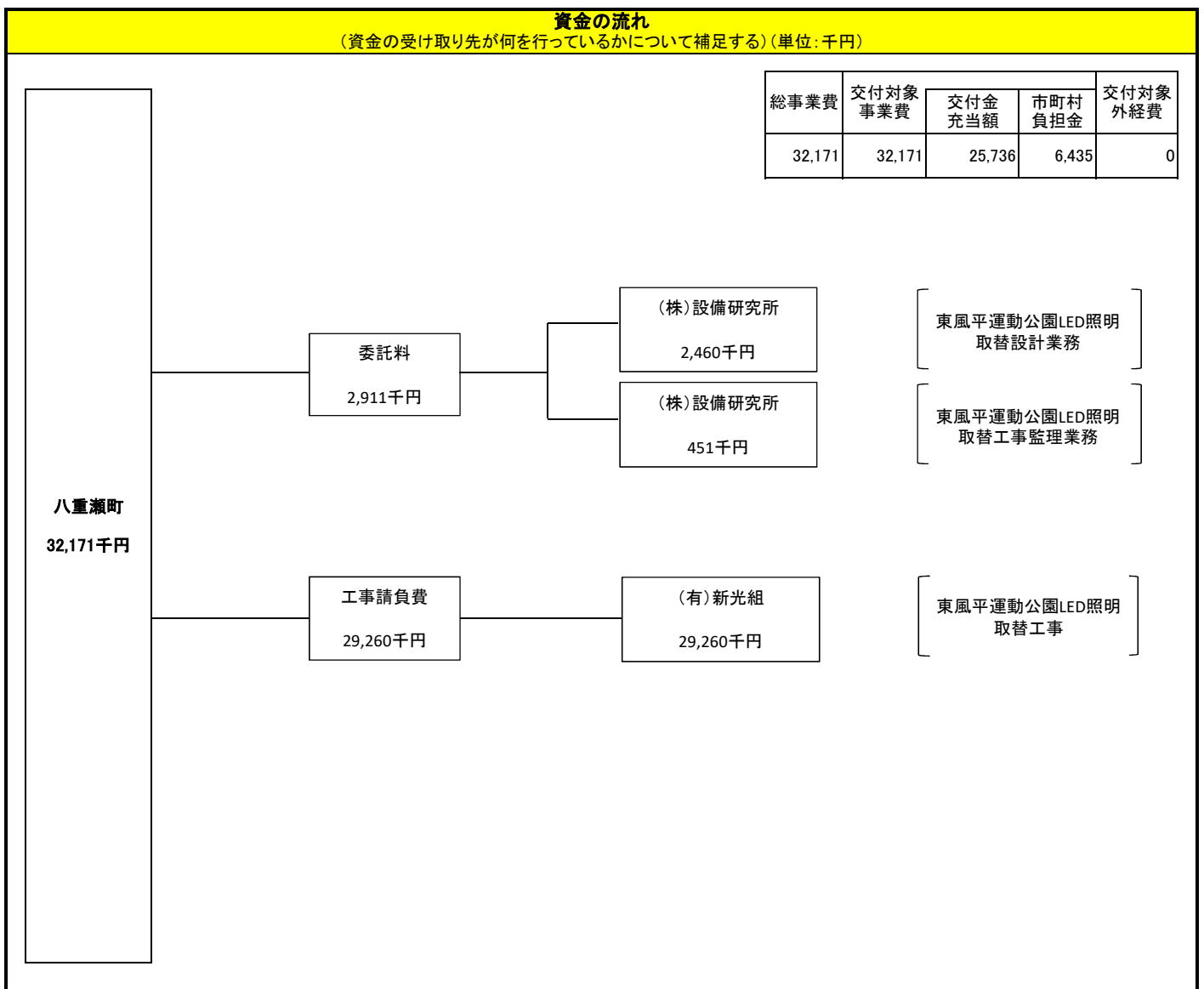
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,420	3,199	2,559	640	221



資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は町財務規則による見積聴取により選定しており妥当と考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス感染症等の影響から県外派遣費の申請が減少し、不用率が約34%となった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金について受益者である町内各種団体及び個人は旅費の5割を負担しており妥当と考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途は委託料及び事業執行のための消耗品費のため必要経費である。

市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	運動公園省エネ化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア	
担当部課名	都市整備課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進	
事業内容	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため省エネ化の推進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	32,000	28,821	56,700	50,890	
	(b) 予算現額	23,157	28,821	69,580	50,890		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 8,843	0	12,880	0		
	(d) 繰越額	—	—	—	—		
	A. 計(b+d)	23,157	28,821	69,580	50,890		
	B. 執行済額	22,949	18,272	68,050	32,171		
	うち交付金充当額	18,359	14,618	54,440	25,736		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	99.1%	63.4%	97.8%	63.2%		
予算の状況の説明	当初、東風平野球場のナイター照明及び室内照明、ソフトボール場、駐車場のLED取替工事を予定していたが、野球場のナイター照明は次年度以降に実施することになったため、不用(18,718千円)が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	東風平運動公園(野球場・ソフトボール場): LED照明設置	目標	( 設置 )	( 設置 )	( 設置 )	( 設置 )	
		実績	設置	設置	設置	設置	
		目標	(            )	(            )	(            )	(            )	
実績							
達成状況説明	当初は、東風平野球場(ナイター照明・室内照明)及び東風平ソフトボール場のLED取替工事を予定していたが、設計業務により工事費の増額が見込まれたため、東風平野球場のナイター照明は次年度以降に実施することとなった。野球場の室内照明とソフトボール場、駐車場の取替工事を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
			(            )	( 2.6t )	( 6.9t )	( 4.7t )	(            )
	東風平運動公園(野球場・ソフトボール場)の二酸化炭素排出削減量4.7t	実績		2.8t	78.0t	2.7t	
		目標	(            )	(            )	(            )	(            )	(            )
		実績					
進捗状況説明		成果目標および実績数値の二酸化炭素排出削減量については、環境省が公表している「電気事業者ごとのCO2排出係数等」を用いて、「年間消費電力量(W)×CO2排出係数(沖縄電力)=CO2排出量」算出を行った。 東風平野球場室内照明、ソフトボール場、駐車場の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素排出削減量は2.7t/月(既存照明排出量4.6t/月、LED照明設置後排出量1.9t/月)となり、目標を達成できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備箇所の見直しに伴い、二酸化炭素排出削減量に変化したことから成果目標を達成できなかった。整備箇所の見直しは、当初計画の工事費から実際の工事費に差異が生じたことによるものであり、計画的な事業執行に向けた検討が重要である。</li> <li>不用額の割合が高かった(約37%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な事業執行に向けて、前年度に設計業務を実施しておくなどの対応が考えらる。</li> <li>不用の縮減に向けた取り組みを検討する必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>町における地球温暖化対策実行計画の推進に向けて、計画的に公共施設等のLED化を進めていく。</li> <li>不用の縮減に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。</li> </ul>		



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事については、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当である。監理委託業務は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に基づき、競争見積方式による随意契約を行っており妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○整備箇所の見直しにより、不用率が約37%となった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
<b>令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	7-①	若い世代からの健康づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア	
担当部課名	民生部 健康保険課	事業実施 (予定)年度	令和元~3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進  III-4	
事業内容	現在実施している健康相談や育児教室等にて、実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用し、食事バランスや量など現状の食生活を見直すきっかけとし、日頃の食生活で「考えて食べる」事を意識化できるように事業を展開することで、生活習慣病を予防し、健康長寿八重瀬町をめざす。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		6,717					
		6,717					
		0					
		—					
	B. 執行済額	6,591					
	うち交付金充当額	5,272					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	98.1%					
	予算の状況の説明	不用額126千円については、嘱託員の共済費の残額や消耗品数量の減などによるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	健康相談・健康教室・育児教室等の各事業を有効的に活用し、SAT(体験型栄養教育システム)を活用し理解しやすい事業を展開する。	目標	( 事業の展開 )	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績	事業の展開				
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績					
達成状況説明	○健康相談・健康教室・育児教室等の各保健事業の中で、食育SAT体験を44回実施(食育SAT体験者数は531人)し、日頃の食生活における意識の向上を図った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)
	保健事業を通して、食生活や食習慣を考える機会をつくり、参加者の食に関する意識や健康観の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	(                    )	( 80%以上 )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績		92%			
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
			実績				
進捗状況説明	○食育SATシステム体験後に参加者の食に関する意識や健康観の向上が図られたかをアンケートにて調査した。239名からの回答を集計した結果、92%の参加者が「食事を改善したい」との回答が得られた。また、自由記載の欄では「これを機に自分の体のことを考えていきたい」「普段あまり意識しないで食べていたのでもいい機会だと思った」など、肯定的な意見が聞かれた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○アンケート調査の結果から、8割以上の方がこれまで受けた栄養相談(指導)と比較して、食育SATシステムを活用した栄養相談の方が分かりやすかったと回答していた。食育SATシステムを活用することで、食に関する意識や健康観の向上を図ることができたと考えられる。</p> <p>○現在実施している保健事業が成人に対するものが多く、若い世代や高齢者が体験できる事業が少なかった。</p> <p>○食育SATは集団を対象とした事業には活用できなかった(パソコン、モニターが小さいため)</p>	<p>○引き続き、食育SATシステムやフードモデルを活用した事業を展開する。</p> <p>○現在実施している保健事業のみでなく、地域での展開も必要である。</p> <p>○集団を対象とした事業の展開のための整備が必要である。</p>

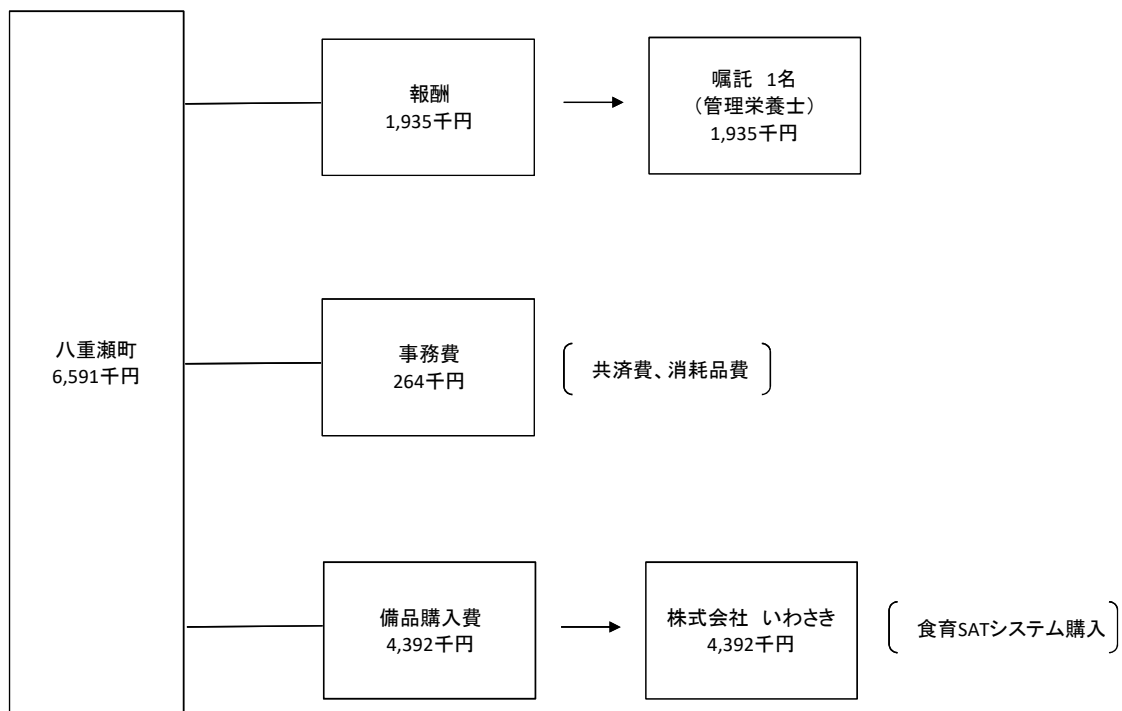
**今後の取り組み方針**

○今後は、地域(ミニデイサービスや保育園の保護者会等)でも食育SATシステムの体験会を行う。

○プロジェクターとレーザーポインターを購入し、集団での健康教室等でも活用を行う。またパワーポイントを活用し、対象者により分かりやすく、インパクトを与えることができるような内容を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,591	6,591	5,272	1,319	0



資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○食育SATシステムは特許製品で取り扱い業者が1社のみであり、代理店もなく直接契約以外に購入方法がないため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約で締結しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	八重瀬町農業機械施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
事業内容	共同利用機械等を導入し、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成及び農業経営の安定化・経費や労働力の削減を推進し、農産物の生産振興を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a)当初予算額	38,793				
		(b)予算現額	38,793				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)		38,793				
	B. 執行済額		37,598				
	うち交付金充当額		30,078				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.9%				
予算の状況の説明		農業機械施設(液肥散布車、いも類収穫機、かんしよ関連機械)を計画どおり購入した。不用額1,195千円については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	農業機械の導入 ①液肥散布車	目標	( 導入 )	( )	( )	( )	
		実績	導入				
	農業機械の導入 ②いも類収穫機等	目標	( 導入 )	( )	( )	( )	
実績		導入					
達成状況説明	当初の予定どおり、液肥散布車1台、いも類収穫機1台、かんしよ関連機械一式を購入し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
	農業機械の導入(液肥散布車及びいも類収穫機等)	目標	( )	( 導入完了 )	( )	( )	( )
		実績		導入完了			
	【R3成果目標】(液肥散布車)サトウキビの生産コスト(施肥)の5%以上低減	目標	( )	( )	( )	( )	( 5%以上低減 )
		実績					
	【R3成果目標】(いも類収穫機等)栽培面積及び収穫量の割合を5%以上増加	目標	( )	( )	( )	( )	( 5%以上増加 )
実績							
進捗状況説明	令和元年度は農業機械(液肥散布車、いも類収穫機、かんしよ関連機械)を導入し、目標を達成した。令和2年度以降に機械を活用し、令和3年度の成果目標達成を目指す。						

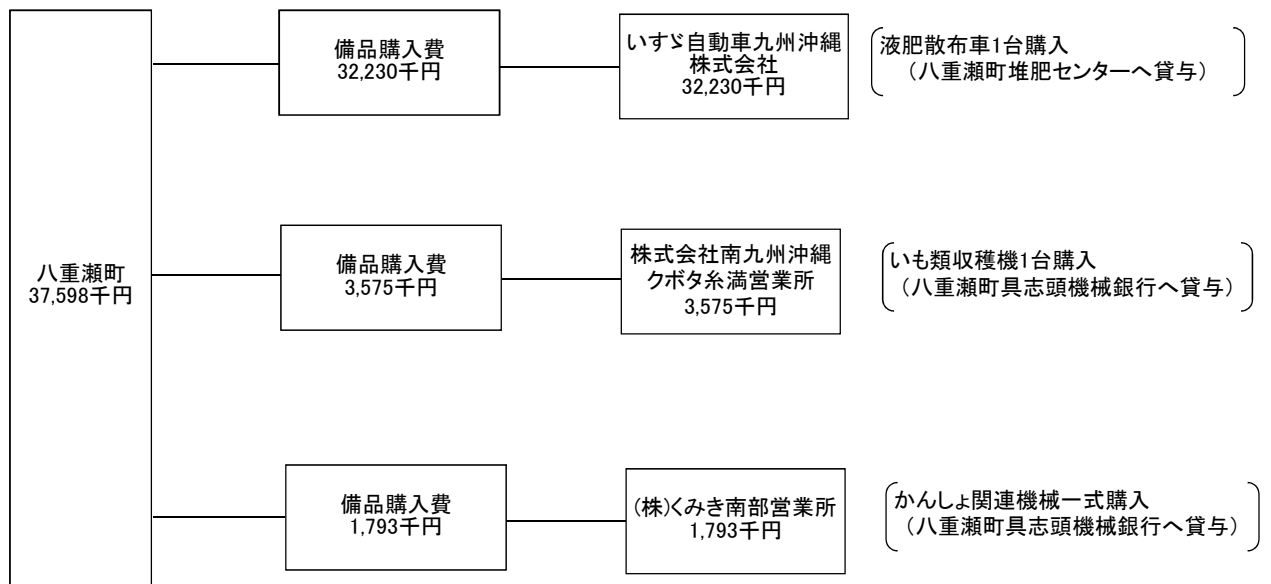
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業で導入した農業機械の管理運営、利用状況等の把握を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の管理運営、利用状況等を定期的に確認する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・適切な事業運営を指導するとともに事業効果の把握に努め、多くの農家が利用できるよう広報等での周知を図る。
- ・液肥散布車により、液肥の適期散布を行い、さとうきびの増産を図るとともに農家の費用負担の削減を図る。
- ・いも類収穫機、かんしょ関連機械により農家の労働時間の削減と作付面積の維持増加を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
37,598	37,598	30,078	7,520	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入先事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

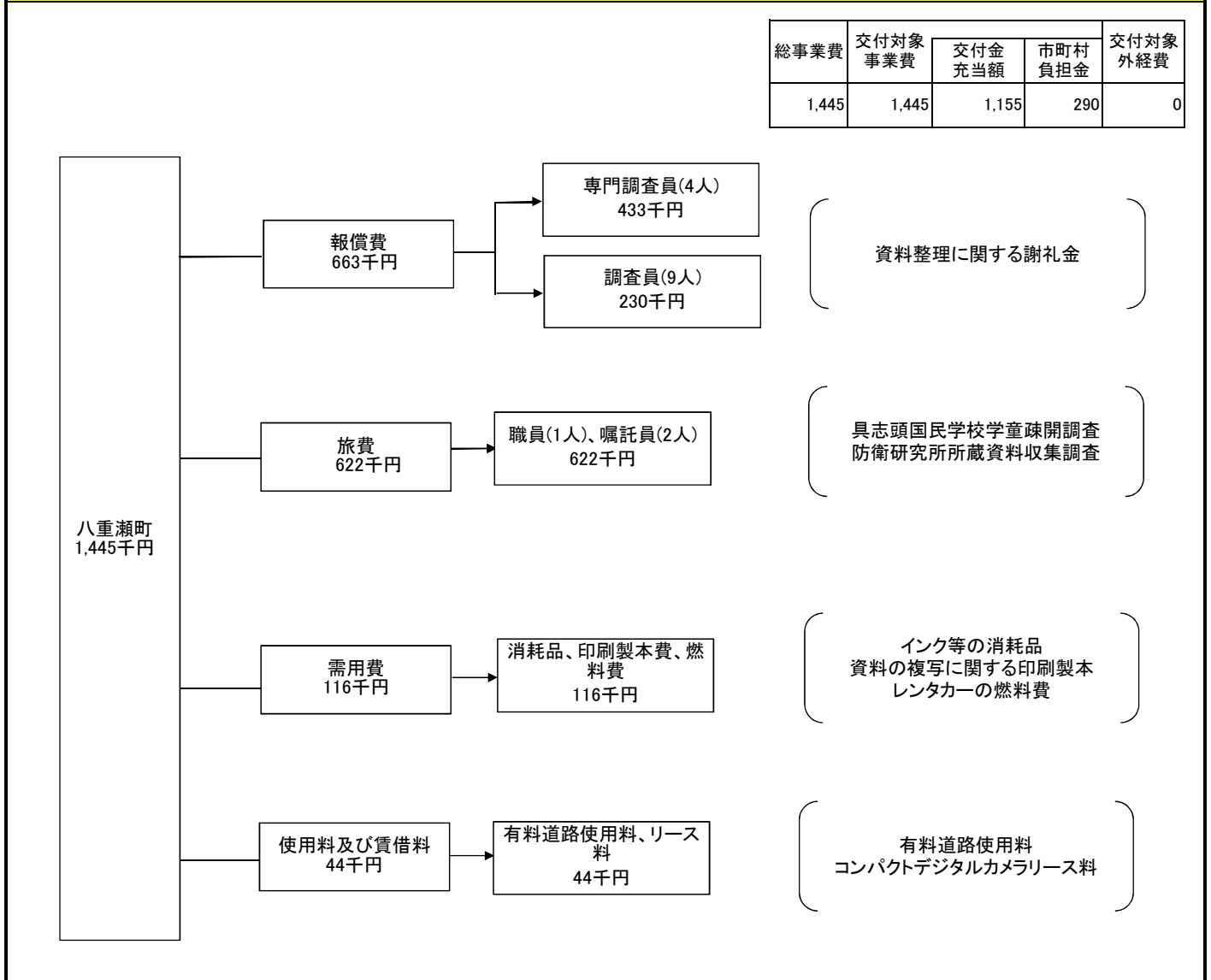
市町村名		八重瀬町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	八重瀬の沖縄戦資料収集調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(4)-ア		
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	令和元～2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	学童疎開に関する資料の収集や当時を知る方々からの聞き取り調査をはじめ、日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事史料を調査・収集しまとめる。						
効果発現年度	■当年度                      ■後年度(令和2年度)						
実施方法	■直接実施    □委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,913				
		(b) 予算現額	2,913				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		2,913				
	B. 執行済額		1,445				
	うち交付金充当額		1,155				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		49.6%				
予算の状況の説明		専門員・調査員の調査回数減、新型コロナウイルスの影響による済州大学所蔵資料収集調査が中止などにより、1,468千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	学童疎開の証言、学童疎開関係の資料を収集	目標	( 収集実施 )	( )	( )	( )	
		実績	収集完了				
	防衛研究所所蔵の日本軍資料の収集	目標	( 収集実施 )	( )	( )	( )	
		実績	収集完了				
米軍史料の収集、選定、翻訳	目標	( 資料選定・翻訳 )	( )	( )	( )		
	実績	選定完了、翻訳未完了					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具志頭国民小学校学童疎開調査において、戦時中に大分県に疎開を行った具志頭国民学校の調査で当時の学童と交流のあった方々および当時の学籍簿などの資料の収集を行った。</li> <li>○旧日本軍史料収集調査において、東京都防衛研究所所蔵の史料、国立公文書館所蔵史料、国立国会図書館所蔵史料の収集を行った。</li> <li>○米軍資料の選定・翻訳において、資料の選定は完了したが、翻訳について資料が膨大であることから未完了となっている。</li> <li>○済州大学所蔵米軍資料収集調査において、新型コロナウイルスの影響により韓国への渡航が制限されたことから中止とした。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R2年度)	
	沖縄戦及び学童疎開に関する資料収集及び聞き取り調査完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事資料の調査・収集完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R2成果目標】 平和学習・企画展の参加者及び作成した報告書により、平和学習等を実施した教育機関等を対象に八重瀬における沖縄戦に対する関心や理解が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	( 80%以上 )
実績							
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験者の聞き取り調査では、10人から証言を聞く予定が12人から聞くことが出来た。また、学童疎開に関する資料も60簿冊収集した。</li> <li>○米軍資料収集、選定、翻訳作業は、収集し資料の選定が100%行うことができたが、資料が多いため翻訳作業が30%であった。</li> <li>○防衛研究所所蔵資料は、50頁の収集予定であったが、大幅に上回る2779頁分の収集が出来た。</li> <li>○済州大学所蔵の米軍撮影空中写真の収集については、新型コロナウイルスの影響により渡航が出来なくなったため中止とした。</li> </ul>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争体験者が年々減少している中、証言や資料を残していく必要がある。そのため随時証言の聞き取りと資料の収集を行う必要がある。今回の調査で当初10人の方からの証言を聞く予定が、12人からの証言を聞くことが出来て想定以上であった。</li> <li>米軍資料の収集と選定については計画通りに進むことができたが、翻訳について資料が多いことから不十分である。</li> <li>収集予定であった米軍撮影空中写真について、世界的に新型コロナウイルスが蔓延したことにより計画を中止した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験者が年々減少していることから、地域の方に協力を得て、早急に調査を行う必要がある。</li> <li>資料の整理について、再度資料を選定し、改めて内容の確認を行い、必要最低限の資料の活用ができるよう整理を行う。</li> <li>米軍撮影空中写真について、関係機関を通して再度調整を行っていく。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

戦争体験者が年々減少していることで平和に関する意識が薄れる危険性があるため、継続して調査を行う必要がある。今回の調査で得られた証言や史料を収録した報告書を刊行していくが、沖縄戦に関する意識をもってもらえるよう、広く広報していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算執行にあたり、八重瀬町財務規則に基づき執行したので、支出先の選定方法は妥当だったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○報償費に関して、不用額が生じたが、事業内容は適正だったと考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算の費目・用途については、事業目的達成の観点から目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	